

令和6年度第2回南地域分科会次第

日時：令和6年5月31日（金）午後1時30分から

会場：南行政センター 3階 大会議室

1 開会

2 議事

（1）協議事項

令和5年度南区地域力向上事業（助成事業）の事後評価について（資料1）

（2）報告事項

①2024年度中央区区政運営方針について（資料2）

②可美公園総合センター施設の休館について（資料3）

3 その他

（1）代表会からの連絡事項について

（2）次回の開催予定（令和6年度）

第3回：令和6年6月28日（金）

第4回：令和6年7月19日（金）

（午後1時30分から 南行政センター3階大会議室にて）

4 閉会

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☒ 協議事項 ☐ 報告事項																
件 名	令和 5 年度南区地域力向上事業（助成事業）の事後評価について																
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	地域力向上事業は、住みよい地域社会を実現するため、区民の参加と協働により区の特性を活かした事業や課題を解決する事業です。 ○市民提案による住みよい地域づくり助成事業 団体の提案に基づき、市が公益上の必要性を認め、団体が自主的に取り組む事業に対し、市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業 ＜浜松市地域力向上事業実施要綱（抜粋）＞ 第 10 条 市長は、実施した助成事業が終了したときは、審査会で評価を行う。 2 前項の評価は別表 2 の基準に基づき行うものとする。 第 12 条 市長は、実施した地域力向上事業の事業概要及び第 10 条に規定する事後評価結果を区協議会等で協議した上で、区ホームページ等で公表するものとする。																
対象の区協議会	中央区協議会（南地域分科会）																
内 容	令和 5 年度実施の市民提案による住みよい地域づくり助成事業の事業評価について報告を行います。 ・評価件数 4 件 <table><tr><th>No.</th><th>事業名</th><th>実施団体</th></tr><tr><td>1</td><td>ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業 2024Sanctuary 計画</td><td>浜松市ビーチバレーボール連盟</td></tr><tr><td>2</td><td>スポーツ寺子屋 in 遠州灘海浜公園-風車公園-</td><td>スポーツ寺子屋 in 遠州灘海浜公園プロジェクト</td></tr><tr><td>3</td><td>耕作放棄地活用事業 ～持続可能なコミュニティづくり～</td><td>NPO 法人水辺の里まちづくりの会</td></tr><tr><td>4</td><td>地域交流・健康増進イベント</td><td>医療法人社団綾和会 浜松南病院</td></tr></table> 事後評価案の内容については、別紙のとおりです。		No.	事業名	実施団体	1	ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業 2024Sanctuary 計画	浜松市ビーチバレーボール連盟	2	スポーツ寺子屋 in 遠州灘海浜公園-風車公園-	スポーツ寺子屋 in 遠州灘海浜公園プロジェクト	3	耕作放棄地活用事業 ～持続可能なコミュニティづくり～	NPO 法人水辺の里まちづくりの会	4	地域交流・健康増進イベント	医療法人社団綾和会 浜松南病院
No.	事業名	実施団体															
1	ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業 2024Sanctuary 計画	浜松市ビーチバレーボール連盟															
2	スポーツ寺子屋 in 遠州灘海浜公園-風車公園-	スポーツ寺子屋 in 遠州灘海浜公園プロジェクト															
3	耕作放棄地活用事業 ～持続可能なコミュニティづくり～	NPO 法人水辺の里まちづくりの会															
4	地域交流・健康増進イベント	医療法人社団綾和会 浜松南病院															

備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)		・事業募集時の評価基準により評価を行います。 ・事後評価の結果は、6月中に浜松市ホームページにて公開します。			
担当課	南行政センター	担当者	森田 哲司	電話	425-1120

令和5年度 南区地域力向上事業(助成事業) 事後評価

各事業の評価(案)

No.	事業名	団体名	評価				総事業費	市執行額 (補助金額)	採択回数
			南区 らしさ	達成度	支援の 必要性	費用対 効果			
1	ビーチバレーボール聖地化への 競技人口拡大事業 2024Sanctuary計画(2023年度)	浜松市ビーチバレーボール連盟	A	B	A	B	1,704,529円	351,000円	3回目
2	スポーツ寺子屋in 遠州灘海浜公園 -風車公園-	スポーツ寺子屋in遠州灘海浜公 園プロジェクト	A	B	B	B	848,080円	339,000円	2回目
3	耕作放棄地活用事業 ~持続可能なコミュニティづくり~	NPO法人水辺の里まちづくりの 会	B	B	A	B	407,667円	200,000円	1回目
4	地域交流・健康増進イベント	医療法人社団綾和会 浜松南 病院	A	B	A	A	497,299円	234,000円	1回目
合計							3,457,575円	1,124,000円	

地域力向上事業の評価基準について

評価項目		評価及び判断基準		
南区らしさ	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・事業の実施にあたり、各区固有の人材、資源などを活かせたか より発展、強化させることに繋がったか		
事業目的の達成度	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・提案時点で掲げた目標をどの程度達成したか		
財産支援の必要性	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・市が補助金を支出して支援を行う必要性 (財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか)		
費用対効果	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・事業実施により得られた効果と、かかる費用のバランスは適切か		

助成事業 No.1

< 令和5年度 > (中央区 南行政センター)

事業名	ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業2024Sanctuary計画(2023年度)			
実施団体名	浜松市ビーチバレーボール連盟			
事業の目的	・浜松市が進める日本最大規模のビーチコート完成に合わせ、ビーチバレーボールの競技人口を拡大させる。 ・浜松市南区を日本一ビーチバレーボールが盛んな地域にし、名実ともにビーチバレーボールの聖地化をめざす。			
事業の成果 (内容)	【イベントの概要】			
	イベント名	①聖地浜松杯: 令和5年4月22日、23日		
	実施時期	②浜松市長杯: 令和5年6月24日、25日		
	実施場所	江之島ビーチコート		
	内容	①聖地浜松杯 ・日本ビーチバレーボールシリーズの開幕戦として、日本のトップランキング選手が参加した。出場チームは16。 ・試合の合間にビーチバレー教室を行った。また、試合後には小・中学生、高校生との交流会を実施し、周辺の清掃活動も実施した。 ・ビーチバレーボールに興味を持ってもらえた。 ②浜松市長杯 ・中高生を対象とした大会を開催。男子13チーム、女子25チームが参加。 ・試合の合間にオリンピック出場選手からの指導も行われた。		
総事業費	1,704,529円	補助金額	351,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 南区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
■南区らしさ ・地域資源である江之島ビーチコートを活用したイベントを実施、ビーチコートの認知度向上、利用促進に寄与した。 ■事業目的の達成度 ・日本トップランキングの選手が参加する注目度の高い大会を実施した。 ・中高生向け大会の開催やバレー教室、交流会を通してビーチバレーボールの競技人口の拡大に努めた。 ■財政支援の必要性 ・大会規模が大きく、またビーチバレー教室には地域の中高生を広く募集した。市のビーチ・マリンスポーツ推進や南区・区政運営方針に定める「地域資源を活用した魅力あるまちづくり」に合致し、ビーチコートの認知度向上にも寄与していることから公益性は高いと考える。 ■費用対効果 ・交流会には目標50人のところ延べ200人が参加しており、また中高生向け大会には約40チームの参加があったことから、ビーチバレーボールの競技人口拡大に一定の効果を上げていると考える。 ■その他 ・協賛企業の確保や経費の削減について検討し、今後は自立して活動を継続してほしい。				

助成事業 No.2

< 令和5年度 > (中央区 南行政センター)

事業名	スポーツ寺子屋in 遠州灘海浜公園-風車公園-																			
実施団体名	スポーツ寺子屋in遠州灘海浜公園プロジェクト																			
事業の目的	・2年目となる寺子屋@遠州灘を軌道に乗せ、更なるスポーツをツールとした公共施設・地域拠点の文化的価値向上を図る。 ・子供、親子の定期的なスポーツ機会を創出する。(スポーツ振興) ・定期的な活動を通じて、来園者の定着、愛着(ロイヤリティ)創出を図る。 ・SNSによる情報発信により、南区・遠州灘の魅力を全国へ発信する。																			
事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td colspan="3">スポーツ寺子屋(スポーツ教室)</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td colspan="3">令和5年4月～令和5年11月</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td colspan="3">遠州灘海浜公園</td></tr> <tr> <td>内容</td><td colspan="3"> ・スポーツ教室(ヨガ、かけっこ、バスケットボール、ボクシング)を全8回実施。参加者は延べ90人。※種目は開催日により異なる。そのうち、プレイグラウンドフェスでの参加者が約30人。 ・SNSを活用した遠州灘の魅力発信については、Instagramでの投稿を24回実施。1投稿に対する閲覧数は約150。 </td></tr> </table>				イベント名	スポーツ寺子屋(スポーツ教室)			実施時期	令和5年4月～令和5年11月			実施場所	遠州灘海浜公園			内容	・スポーツ教室(ヨガ、かけっこ、バスケットボール、ボクシング)を全8回実施。参加者は延べ90人。※種目は開催日により異なる。そのうち、プレイグラウンドフェスでの参加者が約30人。 ・SNSを活用した遠州灘の魅力発信については、Instagramでの投稿を24回実施。1投稿に対する閲覧数は約150。		
イベント名	スポーツ寺子屋(スポーツ教室)																			
実施時期	令和5年4月～令和5年11月																			
実施場所	遠州灘海浜公園																			
内容	・スポーツ教室(ヨガ、かけっこ、バスケットボール、ボクシング)を全8回実施。参加者は延べ90人。※種目は開催日により異なる。そのうち、プレイグラウンドフェスでの参加者が約30人。 ・SNSを活用した遠州灘の魅力発信については、Instagramでの投稿を24回実施。1投稿に対する閲覧数は約150。																			
総事業費	848,080円	補助金額	339,000円																	
評価	項 目	ランク																		
		A	B	C																
	1) 南区らしさ	高い	普通	低い																
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い																
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い																
	4) 費用対効果	高い	普通	低い																
意見等																				
■南区らしさ ・地域資源である遠州灘海浜公園を会場としており、中田島地域の開放的な空間の中で行うスポーツ教室の様子をSNSで広く発信し、地域の魅力発信、認知度向上に寄与した。 ■事業目的の達成度 ・スポーツに触れる機会の創出はできており、また開放的な空間でのスポーツ教室の様子をSNSで広く発信することで中田島地域の魅力発信につながったと考える。 ・SNSでの情報発信について、150回閲覧されており遠州灘の魅力発信に一定の効果を上げていると考える。 ・夏の猛暑、冬の寒波への対策を踏まえ定期開催を中止した日があり、スポーツ教室は全8回実施となったため参加人数目標(月80人)に対して10分の1程度の実績となった。 ■財政支援の必要性 ・地域資源の認知度向上及び市の第2期スポーツ推進計画に定める「する」スポーツの推進に寄与しており、広く親子でのスポーツ機会の提供を行っていることから、公益性はあると考える。 ■費用対効果 ・参加人数目標は達成できていないが、参加者へのスポーツに触れる機会の創出はできており、またその様子をSNSへ投稿することで地域の魅力発信に繋がっている。 ■その他 ・SNSでの魅力発信について、発信の仕方を工夫するなど、参加者の増加につなげてほしい。 ・参加者の意見を踏まえて教室で扱う種目を検討し、柔軟に対応してほしい。																				

助成事業 No.3

< 令和5年度 > (中央区 南行政センター)

事業名	耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり～																			
実施団体名	NPO法人水辺の里まちづくりの会																			
事業の目的	・ 地域交流の深化と拡大:住民(シニア、障がい者、外国籍等)、子供たちの交流の場を新たに作り、輪を広げていく。 ・ 荒れ農地拡大防止:そばや花を栽培、景観向上、通学路の安全・安心を確保する。																			
事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table><tr><td>イベント名</td><td colspan="3">出前そば打ち体験等</td></tr><tr><td>実施時期</td><td colspan="3">令和5年4月～令和6年3月</td></tr><tr><td>実施場所</td><td colspan="3">中央区河輪町、東町、三新町</td></tr><tr><td>内容</td><td colspan="3">・耕作放棄地でのそば栽培を実施。農地を整備し、そばを栽培した。そばの収穫5kg。目標は50kgであったが、天候不良により収穫量が減少した。延べ67人参加。 ・そば打ち体験会を月2回全24回実施。参加人数目標480人(月2回各回20人想定)に対して実績は各回10人程度、外国人を含む地域住民延べ200人程度参加。</td></tr></table>				イベント名	出前そば打ち体験等			実施時期	令和5年4月～令和6年3月			実施場所	中央区河輪町、東町、三新町			内容	・耕作放棄地でのそば栽培を実施。農地を整備し、そばを栽培した。そばの収穫5kg。目標は50kgであったが、天候不良により収穫量が減少した。延べ67人参加。 ・そば打ち体験会を月2回全24回実施。参加人数目標480人(月2回各回20人想定)に対して実績は各回10人程度、外国人を含む地域住民延べ200人程度参加。		
イベント名	出前そば打ち体験等																			
実施時期	令和5年4月～令和6年3月																			
実施場所	中央区河輪町、東町、三新町																			
内容	・耕作放棄地でのそば栽培を実施。農地を整備し、そばを栽培した。そばの収穫5kg。目標は50kgであったが、天候不良により収穫量が減少した。延べ67人参加。 ・そば打ち体験会を月2回全24回実施。参加人数目標480人(月2回各回20人想定)に対して実績は各回10人程度、外国人を含む地域住民延べ200人程度参加。																			
総事業費	407,667円	補助金額	200,000円																	
評価	項目	ランク																		
		A	B	C																
	1) 南区らしさ	高い	普通	低い																
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い																
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い																
	4) 費用対効果	高い	普通	低い																
意見等																				
■南区らしさ ・南地域の耕作放棄地を有効活用し、外国人を含む地域住民の交流の場を提供した。 ■事業目的の達成度 ・そばの収穫について目標には未達であるが一定量の収穫はできており、また学校に近い耕作放棄地でそば栽培を行ったことで通学路の安全・安心の確保、景観向上につながった。そば打ち体験は参加人数目標480人(月2回各回20人)に対して実績は200人程度となっており、地域の交流の深化と拡大が図られたと考える。 ■財政支援の必要性 ・事業内容は耕作放棄地の有効活用や地域住民の交流機会の充実による相互理解の促進など市の第3次多文化共生都市ビジョンとも合致しており公益性は高いと考える。 ・小学校隣接地の耕作放棄地の解消により通学路の安全・安心の確保、景観向上につながったことから、南区・区政運営方針に定める「安全・安心に暮らせるまちづくり」に合致していると考ええる。 ・団体の財源は会費と寄付、協賛金で成り立っており、確かな収入源があるわけではない。 ■費用対効果 ・そば打ち体験会では延べ200人程度、そば栽培には延べ67人が参加した。 ■その他 ・寄付や協賛金の確保や経費の削減について検討し、今後自立して活動を継続していけるようにしてほしい。 ・今後、外国人を含む地域住民の交流の場として、さらに発展していけるように内容や広報の仕方について検討してほしい。																				

助成事業 No.4

< 令和5年度 > (中央区 南行政センター)

事業名	地域交流・健康増進イベント											
実施団体名	医療法人社団綾和会 浜松南病院											
事業の目的	・地域の健康増進のため ・地域のコミュニティ活性化のため											
事業の成果 (内容)	【イベントの概要】 <table border="1"> <tr> <td>イベント名</td><td>地域活性フェス</td></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>令和5年11月12日(日)</td></tr> <tr> <td>実施場所</td><td>浜松南病院(中央区白羽町)</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・健康増進や防災意識向上を図るイベントを開催。参加人数は約800人。 ・栄養相談、医療介護相談、体組成測定等のブース出展や南消防署白脇出張所の協力で緊急車両等の展示を実施。その他キッチンカーも多数出店。 ・医療講演会の開催(全3回)。演目は「気になる糖尿病」「いざという時の緊急蘇生(AEDの使い方等)」「毎日を健康に過ごすために-食事内容の工夫-」延べ109人参加。 ・世界糖尿病デー(11月14日)にあわせて病院をブルーライトアップ(11月12日～11月14日)し、糖尿病予防の啓発を図った。 </td></tr> </table>				イベント名	地域活性フェス	実施時期	令和5年11月12日(日)	実施場所	浜松南病院(中央区白羽町)	内容	・健康増進や防災意識向上を図るイベントを開催。参加人数は約800人。 ・栄養相談、医療介護相談、体組成測定等のブース出展や南消防署白脇出張所の協力で緊急車両等の展示を実施。その他キッチンカーも多数出店。 ・医療講演会の開催(全3回)。演目は「気になる糖尿病」「いざという時の緊急蘇生(AEDの使い方等)」「毎日を健康に過ごすために-食事内容の工夫-」延べ109人参加。 ・世界糖尿病デー(11月14日)にあわせて病院をブルーライトアップ(11月12日～11月14日)し、糖尿病予防の啓発を図った。
イベント名	地域活性フェス											
実施時期	令和5年11月12日(日)											
実施場所	浜松南病院(中央区白羽町)											
内容	・健康増進や防災意識向上を図るイベントを開催。参加人数は約800人。 ・栄養相談、医療介護相談、体組成測定等のブース出展や南消防署白脇出張所の協力で緊急車両等の展示を実施。その他キッチンカーも多数出店。 ・医療講演会の開催(全3回)。演目は「気になる糖尿病」「いざという時の緊急蘇生(AEDの使い方等)」「毎日を健康に過ごすために-食事内容の工夫-」延べ109人参加。 ・世界糖尿病デー(11月14日)にあわせて病院をブルーライトアップ(11月12日～11月14日)し、糖尿病予防の啓発を図った。											
総事業費	497,299円	補助金額	234,000円									
評価	項目	ランク										
		A	B	C								
	1) 南区らしさ	高い	普通	低い								
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い								
	4) 費用対効果	高い	普通	低い								
意見等												
■南区らしさ ・南地域の津波避難ビルに指定されている南病院を活用し、地域の健康増進、防災意識の向上につながった。 ■事業目的の達成度 ・目標500人に対して800人の参加があり、健康増進への意識の醸成、防災意識の向上の契機となり、また地域のコミュニティ活性化に貢献したと考える。 ■財政支援の必要性 ・地域の健康増進、活性化に寄与する事業であり、公益性は高いと考える。 ・健康はままつ21(第2次健康増進計画)の重点施策(生活習慣病の発症予防と重症化予防)に合致する事業と考える。 ・防災意識の向上について、南区・区政運営方針に定める「安全・安心に暮らせるまちづくり」に合致すると考える。 ■費用対効果 ・総事業費約500千円(うち補助金が234千円)で目標を超える参加があり、費用対効果は高いと考える。 ■その他 ・イベント実施により健康増進や防災における自助・共助への理解を深める機会を提供することで、地域住民の健康や防災への意識の醸成につなげてほしい。 ・イベント内容について地域のニーズを把握するよう努め、柔軟に対応し今後も継続して実施してほしい。												

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☐ 協議事項 ☒ 報告事項				
件 名	2024 年度中央区区政運営方針について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	○背景 区民の皆様とともに地域の課題を解決し、市民サービスの向上や暮らしやすい地域づくりを進めるために、区長が区政運営に当たっての基本的な方針、区の取組課題等を区政運営方針として毎年度公表している。				
対象の区協議会	中央区協議会（南地域分科会）				
内 容	詳細は別紙「2024 年度中央区区政運営方針」のとおり				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)					
担当課	南行政センター	担当者	佐藤 一郎	電話	425-1120

2024 年度 中央区 区政運営方針



浜松市中央区役所
2024 年 4 月



区長あいさつ

令和6年4月から中央区長に就任しました岡安と申します。

区政運営方針とは、市民サービスの向上や地域の課題を解決し暮らしやすい地域づくりを進めるため、区長が区民の皆さまに区政運営の基本的な方針や取り組む課題などをお示しするものです。

令和6年1月1日の行政区再編により、これまでの中区、東区、西区、南区、北区の一部(三方原地区)が1つの区となり、新たに中央区として出発いたしました。

新たにスタートした中央区が、より暮らしやすく魅力にあふれた区になるよう職員一丸となり、区民の皆さまと一緒にまちづくりに取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。



中央区長 岡安 章宏

目次

中地域	1
東地域	9
西地域	15
南地域	25
区の経営に要する資源	31

2024 年度

中央区 区政運営方針（中地域）



浜松市中央区役所 区振興課

区政運営のための基本方針と重点的な取り組みの柱

《 基本方針 》

● 親しまれ、信頼される区役所づくり

区民の皆さまの意見を区政に十分に反映し、質の高い行政サービスを提供することで満足度を高めます。

● 安心して暮らせるまちづくり

地域の防災・防犯力、安全性を高め、区民の皆さまとの協働によって「安全・安心なまち」を実現します。

《 重点的な取り組みの柱 》

- 1 にぎわいと文化を育むまち
- 2 共生のこころで優しさあふれるまち
- 3 安心して快適に暮らせるまち



1 にぎわいと文化を育むまち



◎区協議会の運営 【区振興課】

安心で住みやすい区を実現するため、区協議会(代表会・中地域分科会)で委員からご意見をいただき、区民の意向を区政に反映します。会議で話し合われた内容は、浜松市公式ホームページに掲載する区協議会会議録でお知らせします。



■区協議会

◎自治会集会所整備への助成 【区振興課】

地域のコミュニティづくりを推進するため、自治会集会所の新築、改修などを支援します。

◎地域力向上事業の実施 【区振興課ほか】

住みやすい地域社会を実現するため、地域課題を市民からの提案等によって解決したり、地域の魅力を活用する事業を実施します。市民提案による住みよい地域づくり助成事業、区民活動・文化振興事業及び区課題解決事業、協働センターを核とした地域課題解決事業の4つの区分により、市民活動団体などの自主的な活動を支援します。



■協働センターを核とした地域課題解決事業
あおぞら協働センター(移動型協働センター)の運営
～つどう・まなぶ・むすぶの創造拠点～



■市民提案による住みよい地域づくり助成事業
「浜松ブルースフェスティバル 2023」

◎生涯学習、文化・スポーツ施設を活用した生きがいくくり 【まちづくり推進課】

だれもが「学び」を通じて健康や楽しみ、生きがいくりに親しむとともに、学習の成果を発揮できる機会をつくることにより、地域学習リーダーや地域ボランティアとして担える人材の育成に努めます。

また、小学生や中高生を対象とした地域の核となりうる人材育成や、地域のさまざまな団体の活動を支援するため、地域コミュニティ活動の拠点として、協働センターなどの利用を促進します。

クリエート浜松や北部水泳場などでは、指定管理者の創意工夫による自主事業やイベントの開催を奨励し、多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる生活の充実などを実感できる文化・スポーツ施設の運営に努めます。

2 共生のところで優しさあふれるまち



◎障がいの有無にかかわらず共生できる社会の推進

【中央福祉事業所・社会福祉課】

障がいの有無にかかわらず共生できる社会のため、「浜松市障がい者自立支援協議会 中エリア連絡会」において関係機関と情報共有や意見交換を行い、支援体制の充実を図るとともに、「啓発部会」において出前講座を実施し、障害に対する社会の理解を進める啓発活動に取り組みます。



■「啓発部会」による「出前講座」

◎安定した生活の実現と自立に向けた支援

【中央福祉事業所・生活福祉第二課】

求職活動を行う生活に困窮する方々に対し、市ジョブサポートセンターと連携し、生活に関する相談、就労に向けての援助を行うことで、安定した生活の実現と自立に向けた支援を行います。



■浜松市ジョブサポートセンター
(中央区役所1階)

◎生活支援体制づくりの推進 【中央福祉事業所・長寿支援課】

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、認知症や身体機能の低下により介護や支援が必要な高齢者が増え続けています。そのため、支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、自治会、社会福祉協議会及び地域包括支援センター（高齢者相談センター）などの関係機関と連携し、生活支援・予防介護サービスが利用できる“地域包括ケアシステム”の推進に努めます。

また、認知症に対する正しい知識の習得と相談窓口の周知を図る施策を実施するとともに、認知症状の進行によるひとり歩き（徘徊）の高齢者をいち早く発見するための“オレンジメール・オレンジシール事業”の周知活動や登録を積極的に進めます。



■協働センターでの啓発活動の様子

◎ユニバーサルデザインの啓発 【区振興課】

誰もが暮らしやすいまちをつくるユニバーサルデザインの考え方や取り組みについて、出前講座などを通じて啓発に取り組みます。

◎健康はままつ21の推進 【中央健康づくりセンター】

健康はままつ21の3つの目標「健康寿命の延伸」「生活の質の向上」「子ども一人ひとりの健やかな発育・成長」の実現に向け、安心して子どもを産み育てることができる相談支援体制の推進に取り組みます。

また、保健師や栄養士等が健康相談、家庭訪問等の地域保健活動を行い、青壮年期から高齢期までの生活習慣病の発症・重症化予防の推進に取り組み、健康増進の普及促進を図ります。



■親子すこやか相談

3 安心して快適に暮らせるまち



◎交通安全の推進 【まちづくり推進課】

本市は政令指定都市の中で人口10万人あたりの人身交通事故件数が、14年連続ワースト1となっており、交通安全啓発事業を拡充し、ワースト1の脱出を目指します。

令和6年度は、高齢者ドライバーの事故防止のための「サポカー体験会・講習会事業」や、中高生の自転車事故が多いことから、「中高生向けの体験型交通安全教室」を引き続き実施します。

さらに、協働センターまつり等のイベントにおいて、自転車利用者に対するヘルメット着用の促進及び夕暮れ時と夜間における自発光式反射材用品等の活用について、全世代に向けて周知してまいります。

啓発活動の中でも特にSNS等における情報発信は効果的と捉え、Facebook やホームページのほか、庁内モニターや下池川交差点にある大型ビジョン等により、交通安全にかかわる情報を発信します。

令和6年度も地域の実情を踏まえながら、警察や交通安全協会などと連携した交通安全啓発を行い、安心して快適に暮らせるまちづくりに努めます。



■街頭での啓発活動

◎防犯灯の設置や維持管理への助成 【区振興課】

夜間の犯罪防止や交通安全を図るため、LED防犯灯を設置、維持管理する自治会に対し、設置費や維持管理費を助成します。

◎行政サービスに重要な区民情報の円滑で確実な管理 【区民生活課】

福祉・文化・健康など、市民サービスの提供に必要な住民情報を確実に管理するために、マイナンバーカードや住民登録、印鑑登録、戸籍届出などを正確かつ適切に処理します。

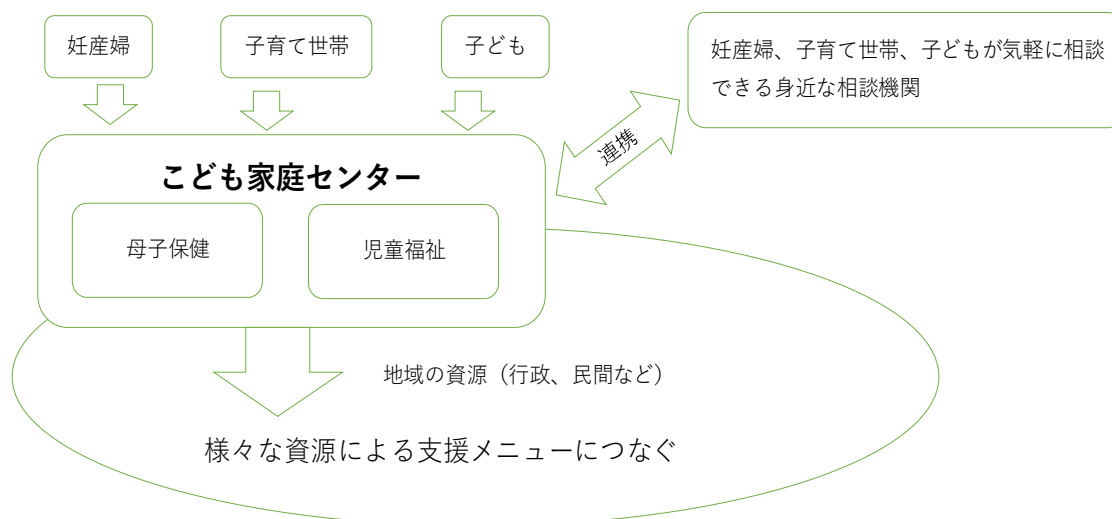
また、届書や申請書提出の手間を省き、証明書のコンビニ交付・手続きのオンライン化を図り、窓口全体の円滑化を推進します。



◎(新規)こども家庭センターの設置

【中央福祉事業所・児童家庭課、中央健康づくりセンター】

児童福祉(児童家庭課)と母子保健(健康づくりセンター)を一体化し、妊産婦、子育て世帯、子どもへの包括的な相談支援を行う子育てのワンストップ窓口「こども家庭センター」を設置することにより、切れ目のない相談体制や子育て支援サービスの提供など、子育て世帯に対する支援の強化を図り、安全・安心な子育て環境の提供を行います。



◎地域コミュニティ活動の推進 【区振興課】

「地域住民の皆さんの最も身近な相談窓口」として区役所や協働センター等にコミュニティ担当職員を配置し、地域の声やニーズをうかがいながら地域活動を支援します。自治会や地区コミュニティ協議会、NPOなどの地域活動団体を支え、市民協働で住民主体の住みやすい地域づくりを進めます。

◎防災意識の啓発 【区振興課】

地域における防災意識を高めるため、「自助」、「共助」をテーマにした出前講座を行うとともに、区版避難行動計画のさらなる周知に努めます。



■防災に関する出前講座

◎自主防災隊への助成 【区振興課】

地域の防災力を強化するため、自主防災隊が行う資機材の購入や防災倉庫の新設・増設・修繕を支援し、自主防災隊活動の活性化を図ります。

■ 各課の取り組み内容

課 名	取り組み内容
区振興課	市民の皆さまの提案による住みよい地域づくりへの助成などを行う地域力向上事業を実施し、地域課題の解決や地域の魅力の掘り起こしを行います。 自主防災隊との連絡を密にし、地域の防災対策を充実します。
区民生活課	マイナンバーカード交付や住民登録、印鑑登録、戸籍届出など、窓口業務が中心で多くの区民の方と密接にかかわる部署です。窓口業務では、手間を省き迅速で正確な手続きと区民一人一人に合わせた対応を心がけます。
まちづくり推進課	各協働センターでは、市公式ホームページ内にある「中央区協働センター通信」や、「協働センターだより」を通じて各種講座事業の情報発信に努め、地域活動団体とも連携して市民協働による事業に取り組みます。 また、2次元コードを用いた講座申込や、公衆無線 LAN を整備したことによるオンライン講座やデジタル講座等の取組により、市民の利便性向上やデジタルリテラシーの向上を図ります。 「サポカー体験会・講習会事業」などを継続するとともに、SNS等を活用した交通安全にかかわる情報を発信し、政令指定都市人口 10 万人当たりの人身交通事故件数ワースト 1 からの脱出を目指します。 また、警察や交通安全協会などと連携するとともに、地域の意見を踏まえ、外国人を含めた全世代に向けての交通安全啓発を実施することにより、安心して快適に暮らせるまちづくりに努めます。

2024 年度

中央区区政運営方針（東地域）



＜東地域の花々＞

浜松市中央区役所 東行政センター

～ 4 つの基本方針に基づく重点的な取り組み～

1 安全・安心な地域づくり



◇ 交通安全の推進

東地域(旧東区)は、静岡県内の市区町における人口 10 万人当たりの人身交通事故件数がワースト 1 となっていることから、今後も交通安全事業を積極的に推進し、市民の交通安全意識の向上に努めます。

- 高齢者を対象にサポートカー乗車体験を実施し、身体能力の変化を認識する機会を提供します。
- 交通安全リーフレットを作成し、東地域内の交通事故発生状況等の情報を発信します。
- 路上や商業施設で街頭広報やイベントを実施し、交通安全を啓発します。
- 中学生を対象に、スタントマンの実演による交通安全自転車教室を開催します。
- 公用車のリアガラスに啓発ステッカーを貼付します。



〈交通安全リーフレット〉



〈東区交通安全フェア 2023〉

◇ 防災出前講座・HUG 訓練・マンホールトイレ設営訓練



〈自主防災隊集合訓練〉



〈防災訓練〉

自治会や自主防災隊・学校等に対し、防災出前講座を開催し、日頃から、災害への備えの重要性を意識していただくよう啓発を行います。

- 避難者による主体的な避難所運営に向け、避難所で起こりうる出来事や課題等を体験できる HUG 訓練（避難所運営ゲーム）を実施します。
- 自治会や自主防災隊が行う避難所運営訓練やマンホールトイレ設営訓練等の実地訓練を支援します。
- 防災・災害情報の収集方法を周知するとともに、防災ホッとメールや浜松市公式 LINE への登録を促進します。

2 地域資源の再発見とその活用



◇ 俳句の里づくり事業

第 17 回目となる十湖賞俳句大会は、投句者数 8,000 人、投句数 15,000 句を目標に掲げ、小中高校俳句講座をはじめとした事業に取り組むことで投句数増を目指すとともに、俳句の良さ、面白さを啓発するイベントを実施し、俳句の里づくりを推進します。



〈高校生俳句選手権〉

◇ アグレミーナ浜松との交流事業「フットサル教室」

浜松アリーナを本拠地とするプロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」の選手と地元の小学生がフットサルを通じて交流を深めるとともに、各個人の技術力向上とチームの知名度アップに寄与できるよう事業を進めてまいります。



〈フットサル教室〉

◇ 「地域住民参加型演劇」開催事業

子安町に拠点を置く「劇団たんぽぽ」と地域の住民や小学生が一緒に、表現することの楽しさや夢を育む機会として、演劇に取り組む場を提供します。

また、演技指導の成果を協働センター等の場で発表することで、地域の子供から大人まで楽しめる交流の輪を広げてまいります。



〈地域住民参加型演劇〉



〈中野町煙火大会〉

◇ 東地域・家康公ゆかりの里推進事業「歴史講演会」

大河ドラマ「どうする家康」によって高まった家康公への関心度をより高められるように、魅力的な講演会を実施してまいります。会場に来られない方に向けては動画配信サービスを提供します。

◇ 中野町煙火大会開催事業

地域に親しまれ、貴重な文化資源として継承され、人の輪や地域の絆を構築することを目的に開催している中野町煙火大会において、警備や交通整理、仮設トイレの設置等、市民が安全かつ衛生的に観覧できる環境を整えます。

3 健康で安心して生活するための支援体制の充実



◇ 高齢者とその家族の交流及び暮らしのサポート事業

高齢者や今後介護が必要となる世代に、介護に対する理解と関心を高めてもらうため、「元気！いきいきフェア」等を開催します。

- 市や地域団体等が行っている高齢者支援事業の紹介
- 最新の介護ロボット体験
- おじいちゃん・おばあちゃんの似顔絵展示

【中央福祉事業所 長寿支援課(東)】



〈令和5年度元気！いきいきフェアin東区〉

◇ 地域福祉講演会

住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちづくりのために、地域住民、自治会、民生委員児童委員、福祉施設職員等が何ができるか学び、地域福祉の向上に資することを目的とした「地域福祉講演会」を開催します。

【中央福祉事業所 社会福祉課(東)】



〈令和5年度講演会のチラシ〉

◇ 健康づくり応援事業

健康づくりへのきっかけとして、生活習慣病予防に関する情報提供やがん検診の受診啓発を行います。

- ベジメータ®(野菜摂取状況が数値でわかる測定機器)を活用した啓発
- がん検診の受診率アップを目指したイベントの実施

【中央健康づくりセンター(東)】



〈ベジメータ®での測定の様子〉

◇ (新規)「こども家庭センター」の開設

「こども家庭センター」を開設し、母子保健と児童福祉の両機能を一体化することで、全ての妊産婦、子育て世帯、子供に対し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。

4 地域と協働した運営



◇ 中央区協議会（東地域分科会）運営事業

市民により構成される中央区協議会（東地域分科会）を定期的に行き、地域における市民協働の推進を図ると共に、市民の意見を区政に反映させます。

東地域では3つの委員会を設置し、地域課題の解決に努めます。

■ 交通安全委員会

「停止線 しっかり停まって 事故防止」

「車間距離 つめるほどに 無くなる余裕」

2つをテーマに様々な手法で交通安全をPR、推進します。



■ 地域防災委員会

防災の取り組み・課題などを共有し、意見交換を行うことで、地域の防災力強化を図ります。

■ 地域福祉委員会

福祉に関する地域課題を解決するため、年度ごとにテーマを決め、先進事例の研究や各種施設の視察を行います。



〈交通安全委員会の様子〉

◇ コミュニティ担当職員による地域づくり支援

地区自治会連合会の会合や地区内小中学校の学校運営協議会、地域防災連携連絡会など様々な分野の会議に参加し、地域や学校の課題・活動を理解し情報共有することで、行政に反映する役割を担ってまいります。そのような活動の中で団体の立上げや運営、事業立案等に悩みを抱える地域団体の情報を得た際には、市民提案による住みよい地域づくり助成事業の活用を提案する等、地域団体の活動を支援します。

また、コミュニティ担当職員の資質向上を図るため各種研修会に積極的に参加するとともに、行政と地域が連動して活動している好事例を学ぶため先進市への視察などにも取り組んでまいります。

◇ 地域力向上事業（市民提案による住みよい地域づくり助成事業）

地域の活性化や課題解決のため、市民が主体的に実施する事業に対して市から補助金を交付します。市民の主体的な活動を支援することにより、地域のコミュニティを活性化するとともに、市民協働によるまちづくりを推進します。

※事業提案のサポートを区役所、行政センター、協働センターで行っています。お気軽にご相談ください。



2024年度 中央区区政運営方針 (西地域)

浜松市中央区役所 西行政センター

〒431-0193 浜松市中央区雄踏一丁目31番1号

TEL:053-597-1112 FAX:050-3385-8176

汽船場（古人見町）から浜名湖を望む

1 主要事業

(1) 安心して暮らせるまちづくり



◆ マイナンバーカード普及、啓発事業（西行政センター証明・届出担当）

区役所や行政センター等での申請サポートの実施や、マイナンバーカード保有者が受けられるコンビニエンスストアにおける証明書の申請や手数料の割引、保険証としての利用などのメリットをさまざまな機会により周知し、積極的な取得と利活用の促進を呼びかけます。これらにより社会のデジタル化やオンラインによる行政手続きの基盤となるマイナンバーカードの普及拡大を目指します。

◆ 子供、児童、生徒や高齢者のための交通安全運動（西行政センターまちづくり推進担当）

通園路や通園時における安全対策の一層の向上を目的として、幼児と保護者を対象とした交通安全啓発物品の配布や、西地域内の高等学校の生徒に対する自転車運転交通安全教室を実施します。

また、「しずおか・安全横断3つの柱」及び「しずおか・自転車事故防止3つの柱+1（プラスワン）」の啓発、自転車運転時のヘルメット着用の努力義務化の啓発や、高齢者に対する体験型の交通安全講習会の実施、交通安全街頭広報にも取り組み、市民が交通事故の加害者にも被害者にもならないよう地域総がかりで交通安全啓発事業を実施します。



高齢者交通安全講習会
(令和5年度:交通教育施設)



高校生サイクルマナー教室
(令和5年度:浜松湖南高校)

◆ 認知症施策推進事業（中央福祉事業所長寿支援課（西））

認知症に対する理解を深める講習会の開催や、支援者の養成を行います。

また、1人で外出し自宅へ帰れなくなった高齢者を、警察や行政、地域の力でいち早く発見・保護するためオレンジシール・オレンジメールの普及拡大に努めます。



オレンジシール



◆（新規）「こども家庭センター」の設置（中央福祉事業所児童家庭課（西））

「こども家庭センター」を開設し、母子保健と児童福祉の両機能を一体化することで、全ての妊産婦、子育て世帯、子供に対し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。

(2) 健やかで元気あふれるまちづくり



◆ ふれあい交流センターの利用促進（中央福祉事業所長寿支援課（西））

高齢者の生きがいづくりや健康増進と、地域の子育て支援、高齢者と子供の世代を超えた交流の場を目的とした浜松市民のための無料施設です。同好会やサークル活動、魅力ある講座の開催や、さまざまな交流イベントを開催するなどし、利用促進に努めます。

また、「ふれあい交流センター湖南」が大規模改修を終え、キッズコーナーや授乳室など新しい部屋を増やし、4月からリニューアルオープンします。



ふれあい交流センター湖南



新設のキッズコーナー

◆ 母子保健事業（中央健康づくりセンター（西））

母子保健と児童福祉の機能を一体化した「こども家庭センター」を開設し、母子健康手帳の交付をはじめ、妊娠・育児の電話相談、家庭訪問、妊産婦・乳幼児の健診などを通じて、安心して出産や育児ができるよう切れ目のない支援をします。

出産・子育て応援事業では、伴走型相談支援と妊娠届出時と赤ちゃん訪問後に交付金を給付する経済支援を行います。また、月1回のオンライン相談や産後ケア事業、教室などのオンライン申請にて、利用者の利便性と安心感の向上に努めます。

◆ 健康寿命延伸啓発事業（中央健康づくりセンター（西））

健康はままつ21（第3次浜松市健康増進計画ほか）に基づき、生活習慣病の発症・重症化予防を一層推進するため、食生活や運動、歯の健康など日ごろの生活習慣を見直すきっかけになるようさまざまな啓発を「はままつ食 de 元気応援店」や協働センターなどで実施します。



「はままつ食 de 元気応援店」での啓発

◆ 成人保健事業（中央健康づくりセンター（西））

生活習慣病の予防、がん検診、歯科保健、栄養に関する各種事業を実施し、西地域の健康づくりを促進します。協力店舗への掲示や企業への健康リーフレット配布などにより、若い世代や健康に関心な層へ健康情報を届けます。健康寿命の延伸を目指してシニアクラブなど地域の団体・グループの健康づくり活動を支援します。

(3) 市民協働によるまちづくり



◆ 市民提案による住みよい地域づくり助成事業（西行政センター地域振興担当）

市民協働の理念の下、市内で活動する団体が提案・実施する「地域資源を活用した事業」や「地域課題を解決するための事業」に対して、市から補助金を交付します。

【令和5年度採択事業（提案団体）】

- ・「佐鳴湖を拠点とした地域コミュニティの土台作り」（テントテントテン運営事務局）
- ・「堀江城と武田信玄の戦いの跡の巡り歩き」（堀江しらべ隊）
- ・「浜名湖から見る伊佐見と浜名湖の生き物体験会事業」（伊佐見地区コミュニティ協議会）
- ・「東大山河津さくら写生コンクール」（和地ふるさと会）

◆ 協働センター等を核とした地域課題解決事業（西行政センター地域振興担当）

協働センターと行政センターの職員が連携し、地域課題の把握に努め、地域活動団体と協働し、地域課題の解決に取り組みます。

【令和5年度実施事業（実施協働センター）】

- ・「～ 3世代交流事業 ～ 篠原地区ボッチャ大会」（篠原協働センター）
- ・「浜名湖ナカノシマいろどり事業」（舞阪協働センター）

◆ みんなが住みよい西地域セミナー事業（西行政センター地域振興担当）

ユニバーサルデザイン（UD）の学習会を開催し、UDが普及した誰もが暮らしやすい地域となるよう意識啓発を行います。また、男女共同参画をテーマとした啓発セミナーを開催し、性別を問わず、多様な人材が活躍できる地域づくりのお手伝いをします。

◆ 協働センターの管理運営（西行政センターまちづくり推進担当・協働センター）

協働センターの施設運営を地域組織に委ねることで地域コミュニティを活性化させることなどを目的とし、地域コミュニティによるまちづくりを推進するため、和地協働センター、伊佐見協働センター、庄内協働センターの管理運営委託を継続します。また、市民協働、地域づくりの拠点である協働センターの施設・設備の修繕など環境整備を進めます。

さらに、地域の特色を活かしニーズに応じた事業や講座を企画するとともに、コミュニティ振興に関する各種団体と連携して地域のコミュニティ活動を支援します。

◆ 中央区協議会西地域分科会運営（西行政センター地域振興担当）

西地域における市民協働の要として、自治会や地区コミュニティ協議会など地域活動団体と行政との橋渡しを行います。また、市の提案する議題について協議し、地域の課題解決に向けた意見交換を行います。

◆ 舞阪地区表浜防風林再生事業（舞阪支所）

松枯れが進んでいる防風林を再生するため、松などを植樹します。舞阪地区子ども育成会や自然保護・まちづくり活動をしている団体などの協力を得て、黒松や広葉樹を植えて景観の維持と防災機能（防風・防砂）を復活します。



舞阪地区子ども育成会などによる植樹



クロマツなど植樹

◆ （臨時）舞阪地区自主防災地図看板改修事業（舞阪支所）

舞阪地区の8自治会集会所には自主防災地図看板が設置されており、有事の際、避難場所などに役立つ情報が掲載されています。しかし、その看板は作成から 20 年経過しており、最新の情報に更新するため看板の改修を行います。

(4) 賑わいと活気にあふれるまちづくり



◆ 舞阪えんばい朝市開催事業（舞阪支所）

5月、6月に弁天島海浜公園において、季節の海の幸や地場産品を販売する「舞阪えんばい朝市」を開催します。



舞阪えんばい朝市 会場



地場産品の販売

◆ 弁天島海開き夏フェスタ開催（西行政センターまちづくり推進担当）

7月に浜松市弁天島海浜公園において「はまなこ夏フェスタ」を開催し、ビーチマリンスポーツなどに適した浜名湖の観光資源の活用と、舞阪地区の名産品巡りや海洋生物の自然教室など各種イベントを通じて西地域の観光地の活性化とにぎわいを創出し、地域の魅力を広く情報発信します。



海水浴風景（弁天島海浜公園）



サップヨガ（ビーチマリンスポーツ）

◆ 浜名湖うなぎまつり開催（西行政センターまちづくり推進担当）

西地域における地域経済活性化のために、11月に浜名湖ガーデンパークにおいて、浜名湖の水産加工品や地場産品の販売、観光資源の広報活動を行います。地域資源である「浜名湖うなぎ」の魅力や資源の保護をSNSなどのデジタル技術も活用して発信します。



大抽選会（浜名湖ガーデンパーク）



うなぎ弁当販売（各店舗販売）

◆ おいしい舞阪まると体験フェア（舞阪支所）

舞阪地区の冬の味覚や周辺地区の魅力に直接触れることができる体験型イベントを開催し、ノリやカキなど地場産品の消費拡大と広報活動を行います。



のり炙り体験



ウオット職員によるお魚トークショー

◆ 文化財の保存と活用（西行政センターまちづくり推進担当）

「重要文化財中村家住宅」や「浜松市舞坂宿脇本陣」などの歴史的施設を活用したイベントの企画に協力し、施設の利用促進と来場者の増に取り組めます。特に重要文化財中村家住宅では、令和5年放送のNHK大河ドラマ「どうする家康」に合わせて講演会や音楽コンサートなどを開催したことで、市内外に当該施設の魅力を発信しました。また、両施設は「市歴史的風致維持向上計画」における重点区域である表浜名湖地区に所在しているため、各施設の適切な維持管理にも取り組めます。



重要文化財中村家住宅の春 桜の開花



舞坂宿脇本陣

（令和5年度：岐佐神社祭典における御神輿のお宿）

◆ 西地域に伝わる伝統芸能の保存と継承（西行政センターまちづくり推進担当）

雄踏歌舞伎「万人講」の定期公演を1月に開催するとともに、「子供歌舞伎教室」を開催することにより、伝統芸能の保存・継承と広報に努めます。



寿式三番叟



絵本太功記十段目 尼ヶ崎閑居の場（子供が上演）

（雄踏文化センター 大ホール）

◆ みどころ・名所



白洲町宇気比神社 での奉納三番叟



子供に大人気の遊具「とびっこ号」
(堀出前中央公園)



舞阪 シンボルタワー
(舞阪町弁天島南)



伊佐見ふれあい水車小屋コンサート
(伊左地緑地公園(森の水車公園))



東大山河津さくら
(大山町東大山地区 花川堤防沿い)

2 西地域応援団 YEEL !

「西地域応援団YEEL!」では、コミュニティ担当職員、エリアマネージャーおよび広報担当が連携して地域の魅力を情報発信しています。また、地域のイベントや精力的に活動する団体の紹介を行っています。浜松市公式ホームページ「西地域応援団YEEL!」をぜひご覧ください。

西地域応援団 YEEL!

魅

力

多

彩

こちらから
検索できます→



西地域応援団

検索

和地 花川コンサート



伊佐見
水車小屋

神久呂 こども講座



庄内 花の会

舞阪 大太鼓祭り



入野 ふるさと夏まつり



篠原 東海道の松



雄踏 息神社の古面



西地域応援団 YEELくん

3 防災

地域の皆様の防災意識の啓発に努めるとともに、地域の防災力を強化するため、自主防災隊が行う防災活動に必要な資機材の購入や防災倉庫の新設等への支援を行います。

防災対策の強化

防災意識の啓発

自治会や学校、各団体等に対して、HUG や DIG をはじめとする防災に関する出前講座を開催し、日ごろから、災害への備えの重要性を意識していただくよう啓発を行います。

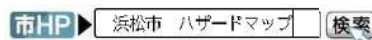
自主防災隊への助成

地域の防災力を強化するため、自主防災隊が行う資機材の購入や防災倉庫の新設・増築・修繕を支援し、自主防災隊活動の活性化を図ります。

ハザードマップ

西地域のハザードマップを配布しています。なお、浜松市公式ホームページからもハザードマップを確認することができます。

こちらから
検索できます→



家具転倒防止事業

予想される東海地震による住宅内の家具の転倒・錯乱による被害を防止するため、家具転倒防止事業に取り組んでいます。

対象となる高齢者や身体の不自由な方の世帯からの申請を受け、転倒防止のための器具取付け作業代を市が負担します。

※転倒防止の器具代(下地材料費を含む)は申請者の負担となります。

2024 年度



中央区区政運営方針(南地域)

Management policy 2024

中央区(南)では、地域で活動されている団体や区民の皆さまとの協働によるまちづくりを進めています。

地域の特色や魅力を最大限活かし、住民の生活の質(QOL)の向上を図るために、まちづくりの4つの基本方針に沿って各種事業に取り組んでまいります。



＜令和5年度 地域力向上事業＞
出世大名家康くん AR フォトコンテスト受賞作品より

浜松市中央区役所 南行政センター

4つの基本方針に基づく重点的な取り組み

1 安全・安心に暮らせるまちづくり



■防災対策事業



【▲地域防災訓練】

令和6年1月1日に発生した能登半島地震における石川県珠洲市での支援活動経験を活かし、被災地の被害の映像や現地で感じた避難者や応援職員の生活などについて出前講座を通じて伝えていきます。

今回の災害を自分事として捉え、自助・共助の観点から防災対策を進められるよう、自治会や自主防災隊などに啓発を図ります。

併せて、小・中学生やその保護者などを対象に防災教育を継続し、激甚化する災害に対応する地域防災力の向上に努めます。

また、県が進める馬込川水門工事(令和9年度完成予定)の進捗状況を南行政センター1階に掲示し、周知を図ります。

■交通安全推進事業

交通安全協会などの関係団体と連携し交差点や商業施設で街頭広報を行うなど、交通事故防止に向けた啓発活動を行います。

また、小学1年生を対象に交通安全啓発物を配付するとともに交通ルールを学ぶ教室を開催し、交通事故防止に向けた取り組みを進めます。



【▲小学生交通安全教室】



【▲高齢者の体験型研修会】

このほかに、ブレーキとアクセルの踏み間違いや道路の逆走など高齢運転者の認知機能や身体機能の低下が原因とみられる交通事故を防ぐため、体験型の交通安全研修会を開催します。

2 区民がいきいきと活躍する協働まちづくり



■地域分科会・協働センター管理運営事業

地域の皆さまや諸団体の主体的な参画により構成する地域分科会を開催し、地域課題をはじめ、代表会から付託された諮問、協議、報告事項を議論します。

また、地域で活動する団体等の拠点施設となる協働センターを管理運営するとともに、地域団体等とコミュニティ担当職員とが連携して協働事業に取り組めます。



【▲協働センターでの講座】

今年度は、子供と高齢者などの世代を超えた交流やふれあう機会を提供し地域コミュニティの推進を図るとともに、防犯対策講座を開催するなど、地域における安全、安心な暮らしを支援します。

■地域力向上事業(区民活動・文化振興事業)



【▲ビーチサッカー大会】

「遠州灘海浜公園江之島ビーチコート」の認知度向上及び利用促進を図るため、幅広い年代でビーチスポーツを楽しめる環境づくりに努めます。その一環として、ビーチサッカー大会を開催するとともに、指導者を対象としたビーチトレーニングの体験会を新たに実施することで、競技人口の広がりを期待します。

3 様々な世代が快適に暮らせるまちづくり



■「書かない窓口」による便利で利用しやすい窓口の実現

住民異動届出(転入・転居・転出等)をはじめ、印鑑登録申請や各種証明書の交付請求など、窓口で記入していた届出書の一部を「書かない」ようにすることで、市民の皆さまの利便性の向上を図ります。



【▲各種手続き窓口風景】

■ふれあい交流センター江之島リニューアルオープン



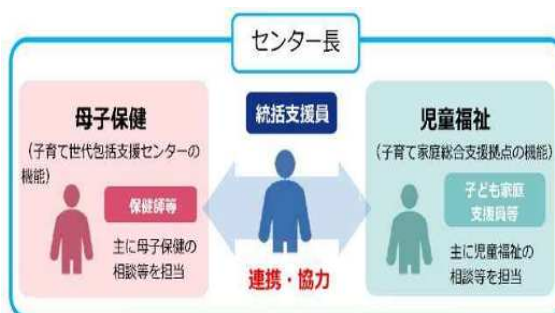
【▲新設のキッズコーナー】

昭和 55 年の開館から 43 年が経過した「ふれあい交流センター江之島」が、本年 4 月にリニューアルオープンします。

大規模な施設改修により、キッズコーナー、授乳室、幼児専用トイレ、エレベーターを新設するなど、多世代の皆さまが安全で快適にご利用いただける施設となりました。

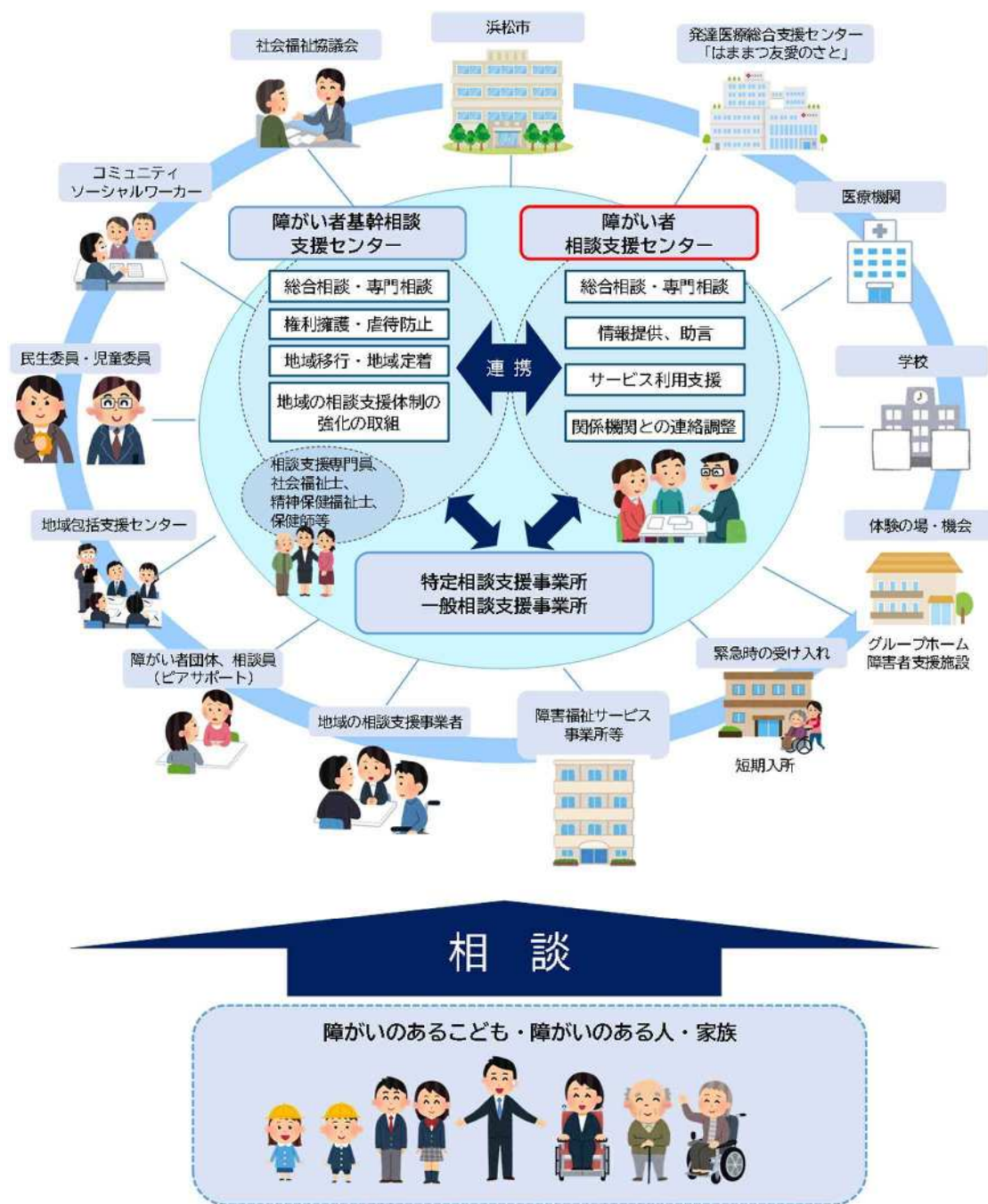
■新規・こども家庭センター開設事業

子育て家庭の負担軽減や孤立感の解消を図るため、母子保健と児童福祉の機能を一体化させ、妊産婦や子育て世帯等への包括的な相談支援を行う子育てのワンストップ窓口「こども家庭センター」を本年 4 月、南行政センター2 階に開設します。



■新規・南障がい者相談支援センター開設事業

障がいを抱える方からの相談件数の増加や多様化、複雑化する相談事例へ対応できるよう、「南障がい者相談支援センター」を本年4月に南行政センター3階に開設します。



4 地域資源を活かした魅力あるまちづくり



■地域力向上事業(区課題解決事業)

市内有数の景観スポットである中田島砂丘をはじめ、遠州灘海浜公園等の魅力や情報をSNSなどで発信します。

また、中田島地域に多くの皆さまに訪れていただけるよう、浜松まつり会館等と連携して幅広い世代が楽しめるイベント「オータムフェスタ」を遠州灘海浜公園で開催します。

今年度は、ARによる防災体験のほか AED の操作を学ぶ講習などのメニューを予定しています。



【▲オータムフェスタ 2023】

■アカウミガメ(天然記念物)の理解促進と保護事業



【▲保護した卵からふ化した子ガメ】

文化財(市指定天然記念物)に指定されているアカウミガメの理解が深まるよう、5～9 月にかけて親と子のウミガメ教室「①アカウミガメの保護事業」「②生態観察」「③中田島砂丘での自然環境学習」を開催します。

また、松島町から舞阪町までの海岸を調査し、上陸したアカウミガメの産卵状況を調査するとともに、卵の保護活動を行います。卵は約 2 か月でふ化して、子ガメが誕生します。

■ 区の経営に要する資源

(1) 区の組織

区振興課	総務(住居表示・統計)、防災、自治会、コミュニティ支援など	TEL 457-2210
区民生活課	証明・届出(戸籍・住民票)、パスポート、マイナンバーカード	TEL 457-2121
まちづくり推進課	生涯学習、事業後援、ごみ、スポーツ振興など	TEL 457-2778
東行政センター	総務(住居表示・統計)、防災、自治会、コミュニティ支援、証明・届出(戸籍・住民票)、マイナンバーカード、生涯学習、事業後援、ごみ、スポーツ振興など	TEL 424-0115
西行政センター		TEL 597-1112
南行政センター		TEL 425-1120
舞阪支所	窓口サービス、防災、コミュニティ支援など	TEL 592-2111

(2) 職員数

(単位:人)

職員数計 (令和6年4月1日現在)	正規職員	再任用職員	会計年度 任用職員	計
計	239	33	351	623
区長・副区長	2	0	0	2
区振興課	18	1	7	26
区民生活課	55	3	137	195
まちづくり推進課	31	5	38	74
東行政センター	40	7	55	102
西行政センター	49	10	55	114
南行政センター	39	5	55	99
舞阪支所	5	2	4	11

(3) 当初予算額

(単位:千円)

	令和6年度	
	区役所費	本庁からの配当
事業費計	1,164,220	2,081,792

(単位:職員数/人、金額/千円)

	令和6年度	
	職員数	金額
人件費計	623	3,039,369
正規職員	239	1,898,408
再任用職員	33	123,684
会計年度任用職員	351	1,017,277

■区の人口・面積

項目	中央区	浜名区	天竜区	計
人口	605,938	155,558	25,296	786,792
(人)	77.0%	19.8%	3.2%	100.0%
面積	268	346	944	1,558
(k m ²)	17.2%	22.2%	60.6%	100.0%
人口密度	2,261.0 人/k m ²	449.6 人/k m ²	26.8 人/k m ²	505.0 人/k m ²

※「人口」:浜松市区別・町字別世帯数人口(令和6年4月1日現在 住民基本台帳による)

※「面積」:国土地理院令和6年全国都道府県市区町村別面積調(令和6年1月1日時点、小数点以下四捨五入)

浜松市 中央区役所 区振興課

所在地: 〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2

電話: 053-457-2210 / FAX: 053-457-2776

E-mail: c-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

ホームページURL: <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ward/chuo/>

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☐ 協議事項 ☒ 報告事項				
件 名	可美公園総合センター施設の休館について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	可美公園総合センター施設の修繕工事や改修工事のため、施設を休館します。				
対象の区協議会	中央区協議会（南地域分科会）				
内 容	別紙のとおり				
備 考 (答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など)					
担当課	南行政センター	担当者	河野 正博	電話	4 2 5 - 1 3 4 2

令和6年度 可美公園総合センター施設の休館について

南行政センター まちづくり推進

今年度、修繕工事や改修工事のため、可美公園総合センターの施設が休館します。
予定されている工事や使用できない期間などは、次のとおりです。

1 体育館の吊り天井改修工事

【使用できない施設】体育館、軽運動場、医務室、控室、体育指導室

【使用できない期間（予定）】令和6年8月1日から令和7年6月30日（11ヶ月）

【周知方法】可美公園の施設内にお知らせの掲示、施設予約システムの画面にお知らせとして掲載、団体への通知

2 可美公園総合センター受変電設備工事

【使用できない施設】館内施設（体育館、軽運動場、医務室、控室、体育指導室、図書コーナー、会議室、第1～3研修室、第1、2和室、ホール、視聴覚室）

【使用できない期間（予定）】令和6年9月1日から令和6年12月31日（4ヶ月）

【周知方法】可美公園の施設内にお知らせの掲示、施設予約システムの画面にお知らせとして掲載、団体への通知

《仮設事務所の設置》

弓道場、グラウンド等は使用可能なため、東側入口付近（図1参照）に仮設事務所を設置します。

【業務内容】施設の予約受付、使用料の徴収、鍵の受け渡し など

【周知方法】可美公園の施設内にお知らせの掲示

3 水泳場 流水ポンプ、ろ過ポンプ改修工事

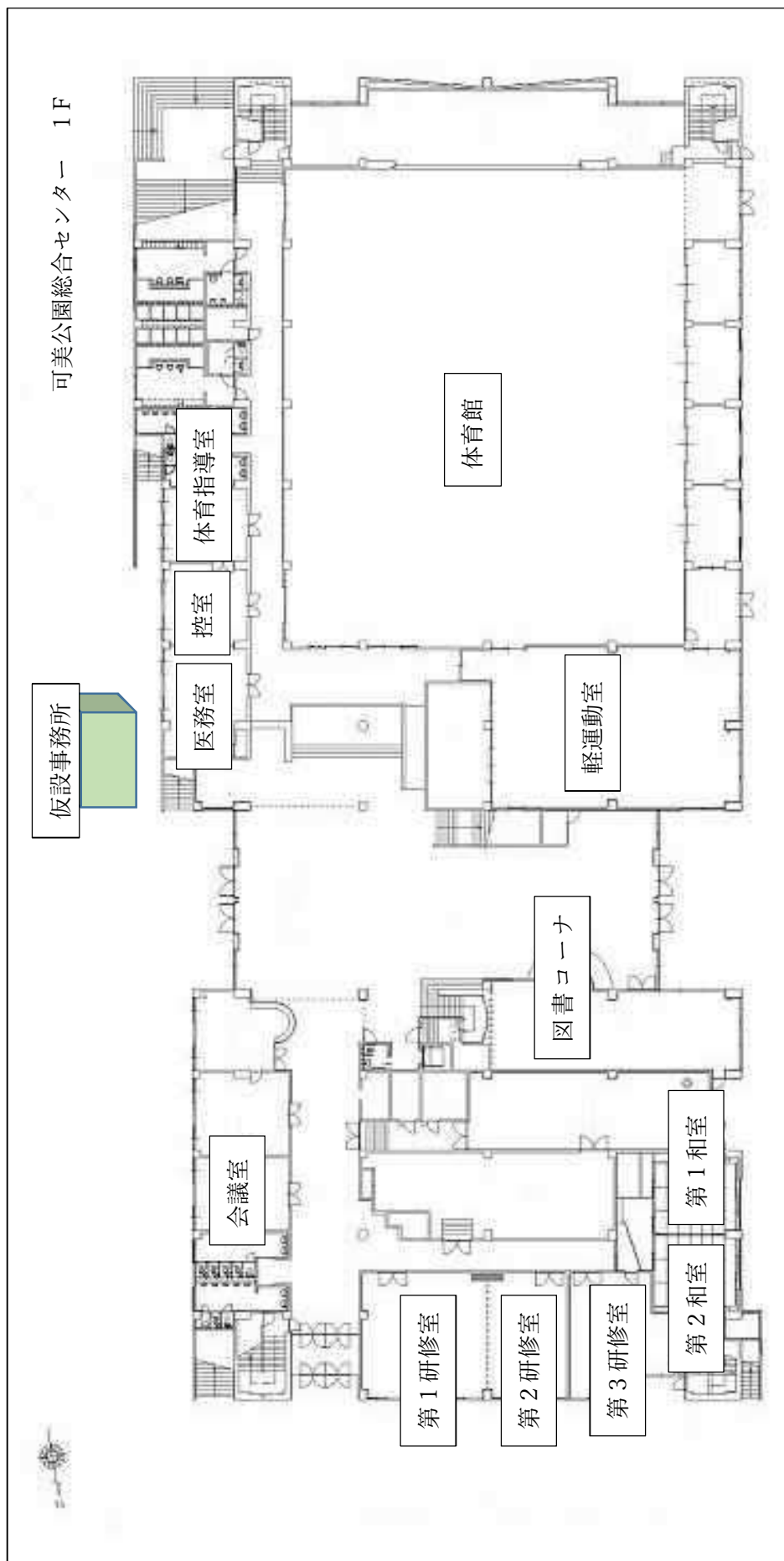
【使用できない施設】屋内、屋外水泳場

【使用できない期間（予定）】令和5年7月1日から令和7年1月31日（1年7ヶ月）

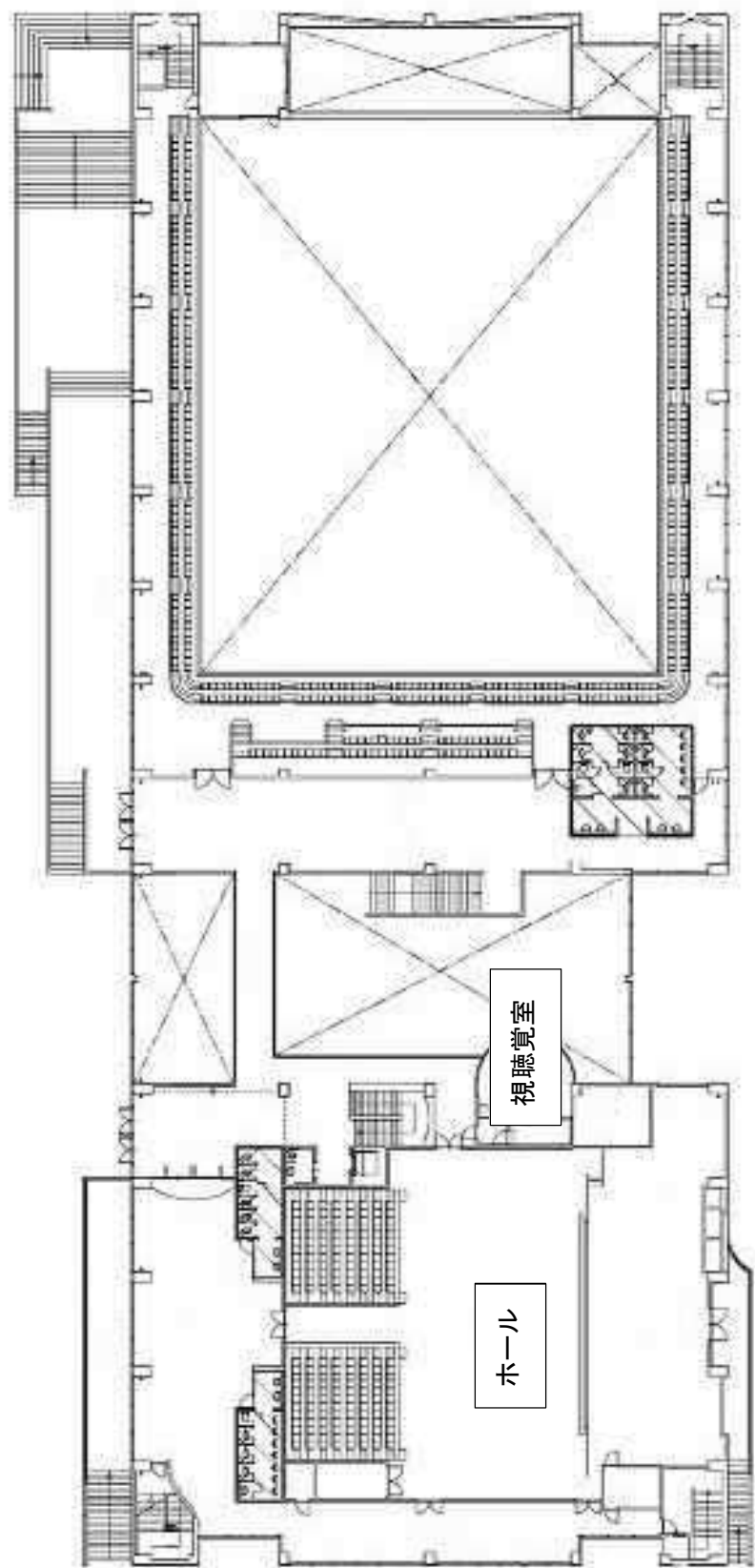
【周知方法】可美公園の施設内にお知らせの掲示、市ホームページでお知らせ



お問合せ先 可美公園総合センター
電話 449-1155



可美公園総合センター 2F



令和6年度第2回中央区協議会 (南地域分科会) 当日配布資料

【協議事項】

令和5年度南区地域力向上事業（助成事業）の事後評価について
（資料1－2）

【その他】

（1）代表会からの連絡事項について

- ・ 令和7年度以降の区政運営方針について（協議－ア）
- ・ 令和6年度パブリック・コメント（パブコメ）と取扱いについて（協議－イ）
- ・ 第3次浜松市中山間地域振興計画策定にかかる集落座談会及びアンケート調査の実施結果について（報告－ア）

令和6年5月31日開催
中央区協議会
(南地域分科会)

1 ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業



2 スポーツ寺子屋in遠州灘海浜公園-風車公園-

リーチ ①

149
リーチしたアカウント

71
フォロワー



78
● フォロワー以外

インプレッション

166

ホーム

75

リールタブ

60



SPORTSTERAKOYA
投稿

sportsterakoya

10/28
Thank you! (土)

ヨガ 8:00
暖かい恰好で
目覚めの朝ヨガ!

かけっこ 8:45
走り方教えます!
楽しく走りましょう!

ボクシング
9:30
子どもでもできる
ミット打ち!

インサイトを見る

投稿を宣伝

いいね! : kaitomama0716、他3人
sportsterakoya みなさんお々に、ぶりです!

3 耕作放棄地活用事業～持続可能なコミュニティづくり～



4 地域交流・健康増進イベント



SBS NEWS



世界糖尿病デー前に浜松市の病院でブルーのライトアップ=静岡県



2023年12月12日(三) 22:53



第9号様式

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☒ 協議事項 ☐ 報告事項	
件 名	令和7年度以降の区政運営方針について	
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	○背景 区民の皆様とともに地域の課題を解決し、市民サービスの向上や暮らしやすい地域づくりを進めるために、区長が区政運営に当たっての基本的な方針、区の実施課題等を区政運営方針として毎年度公表している。	
対象の区協議会	中央区協議会（代表会）	
内 容	令和7年度以降の区政運営方針の策定方針について意見を伺うもの。 ○令和7年度以降の区政運営方針の策定方針 総合計画との整合を取った「将来像」、「基本方針」と「まちづくりの柱」を統合した「基本方針」で構成する。 区単位で作成し、地域（旧区）ごとの主要事業等を記載する。	
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)		
担当課	中央区区振興課	

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

第9号様式

区 協 議 会

区 分	□諮問事項 ■協議事項 □報告事項
件 名	令和6年度パブリック・コメント(パブコメ)の取扱いについて
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	- 区協議会の協議事項は、代表会では区協議会の運営に関する事項や市の諮問、協議事項を取扱い、地域分科会では地域づくりに関する事項や代表会から付託された事項を取り扱う運用としており、条例や計画のパブコメは代表会の協議事項としている。 - 昨年11月の区協議会では、パブコメ案件が6件も重なり、委員から、資料の分量が多く、全てのパブコメ案件を協議事項とすることについて、負担が大きいとの意見があった。 - 区協議会における、パブコメに関する運用を令和6年1月から変更した。
対象の区協議会	中央区協議会
内 容	令和6年度のパブコメの取扱いについて協議するもの。 (1)パブコメの運用区分 ①<u>原則として、情報提供までとし、概要版の配付にとどめる。</u> ただし、以下②、③の場合は区協議会での説明を行う。 ②パブコメ実施担当課の判断によって意見を聴取する必要がある場合。 ③区協議会から求められた場合。(ただし、説明は代表会又は地域分科会のどちらか一方) (2)令和6年度の取扱い - 今年度のパブコメは別紙「令和6年度パブリック・コメント一覧表(パブコメ一覧表)」のとおり。(運用区分②まで反映済) <u>運用区分③としたい案件について、地域分科会で協議することを決定するもの。</u> (3)今後の流れ 5月代表会：パブコメ一覧表の確認。運用区分③について地域分科会で協議することを決定。 ▼ 6月地域分科会：パブコメ一覧表の確認。<u>運用区分③としたい案件を決定。</u> ▼ 7月代表会：6月の地域分科会の決定を踏まえたパブコメ一覧表を確認・協議し、最終版として決定。 ▼ 7月～：各協議会においてパブコメ実施担当課による説明の実施。(日程は事務局と調整)
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	—
担当課	中央区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和6年度パブリック・コメント一覧表

No.	①件名	②担当課	③意見募集 期間	④結果等 公表	⑤実施 (施行)	⑥対象地域	⑧担当課による説明										
							説明の有 無	中央	中	東	西	南	浜名	北	浜北	天竜	
1	浜松市総合計画基本計画(案)	企画課	8～9月	10月	令和7年4月	全市域	有			○	○	○	○		○	○	○
	⑦概要	総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されており、基本計画は基本構想に掲げる未来の理想の姿の実現に向けて、長期的な展望に立った総合的な政策を定める計画です。															
2	第4次浜松市教育総合計画(案)	教育総務課	8～9月	11月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	本市が掲げる教育の基本理念や目指す子供の姿の実現に向けて、基本的な方針に基づく具体的な政策・施策等を総合的・体系的に推進していくことを目的に策定する計画です。					資料配付										
3	宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく宅地造成等の工事規制区域及び特定盛土等規制区域の告示(案)	土地政策課	11月	3月	令和7年 4～5月	全市域	有	○						○			○
	⑦概要	盛土災害の防止を目的とした盛土規制法の運用に係り、市域において盛土等行為の規制区域を設定し、法に定める規制区域の公示を行うため、この規制区域（案）の意見募集を行うものです。															
4	第3次浜松市中山間地域振興計画(案)	市民協働・地域政策課 (中山間地域振興担当)	10～11月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	有	○						○			○
	⑦概要	第3次浜松市中山間地域振興計画（案）は、中山間地域において少子化、高齢化、過疎化の流れが予想される中、持続的可能な地域社会の実現に向け、中山間地域が目指す姿を中山間地域・都市部双方の市民が共有するとともに、今後の振興施策の指針を示していくことを目的に策定する計画です。															
5	浜松市国際戦略プラン(案)	国際課	11月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	本市の国際施策展開の指針となる「浜松市国際戦略プラン」が計画期間の最終年を迎えることから、現下の社会情勢等を踏まえた第3次プランを策定し、引き続き、本市の活性化と国際社会への貢献を果たします。					資料配付										
6	(仮称)浜松市公共施設等総合管理計画(案)	アセットマネジメント推進課	11月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	(仮称)浜松市公共施設等総合管理計画(案)は、市が保有する全ての資産を対象に、資産の見直しや活用、運営管理、処分などに関するプロセス全般を資産経営と位置づけ、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤として設定するものです。					資料配付										
7	浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(案)	市民生活課	11月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	犯罪のない安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、基本的な方針に基づく具体的な政策・施策等を総合的・体系的に推進していくことを目的に策定する計画です。					資料配付										

No.	①件名		②担当課	③意見募集 期間	④結果等 公表	⑤実施 (施行)	⑥対象地域	⑧担当課による説明										
								説明の有 無	中央	中	東	西	南	浜名	北	浜北	天竜	
8	第4次浜松市男女共同参画基本計画(案)		UD・男女共同参画課	11～12月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	第4次浜松市男女共同参画基本計画は、すべての市民が性別にかかわらず個人として尊重され、自らの意思により個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目指すことを目的として策定する計画です。					資料配付											
9	第3期浜松市スポーツ推進計画(仮称)浜松市スポーツ推進ビジョン)(案)		スポーツ振興課	11月	令和7年2月	令和7年3月	全市域	無										
	⑦概要	第3期浜松市スポーツ推進計画(案)は、スポーツに関わる新たな視点を取り入れ、スポーツ政策を戦略的に推進するための計画です。					資料配付											
10	(仮称)浜松市子ども計画(案)		子ども若者政策課	11～12月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	子ども基本法第9条で策定される国子ども大綱を勘案して、子ども施策に関する基本的な方針、子ども施策に関する重要事項及び子ども施策を推進するために必要な事項を定めるものです。					資料配付											
11	浜松市農業振興ビジョン(案)		農業水産課	11月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	農業振興ビジョンは、基本方針、施策を分かりやすく市民に伝えるとともに推進体制を整え、本市の農業が目指すべき将来像を実現するために策定するものです。					資料配付											
12	浜松市のみちづくり計画(案)		道路企画課	11月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	有	○						○			○
	⑦概要	浜松市のみちづくり計画は、「道路における課題」、「上位・関連計画における将来像」等を踏まえ、今後10年間にわたる道路の基本理念や基本方針等を定める計画です。																
13	第3次浜松市環境基本計画(案)		環境政策課	11～12月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	浜松市環境基本条例の規定に基づき、市の「環境の保全及び創造に関する基本的な計画」として定めます。平成27年に策定した第2次環境基本計画の計画期間が令和6年度で終了するため、第3次計画として内容を更新します。					資料配付											
14	第3次浜松市人権施策推進計画(案)		福祉総務課 人権啓発センター	12月～1月	令和7年2月	令和7年4月	全市域	無										
	⑦概要	すべての人が、「幸せに生きていく」ことができ、「自分らしく生きていく」ことができるために、「思いやりあふれる社会の実現」を目指すため策定する計画です。					資料配付											

第9号様式

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☐ 協議事項 ☒ 報告事項																								
件 名	第3次浜松市中山間地域振興計画策定にかかる集落座談会及びアンケート調査の実施結果について（報告）																								
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	・ 現行の第2次浜松市中山間地域振興計画が令和6年度で終期を迎えるため、令和7年度から始まる新たな計画を策定する。 ・ 令和5年度は集落座談会の開催及び中山間地域住民と都市部市民に向けたアンケート調査を実施。																								
対象の区協議会	全ての区の協議会																								
内 容	・ 次期中山間地域振興計画策定に市民の意見を反映させるため、令和5年度に実施した集落座談会及びアンケート調査の結果について報告するもの。 (1) 集落座談会 (※中山間地域20回＋類似地域2回) ・ 実施時期 令和5年6月～12月 ・ 実施回数 22回 ・ 実施地域 中山間地域6地区(天竜、春野、佐久間、水窪、龍山、引佐)及び中山間地域類似地区2地区(滝沢・鷺沢地区、三ヶ日地区) (2) アンケート調査 ・ 実施時期 令和6年1月31日～2月29日 <table border="0"> <tr> <td>発送</td> <td>中山間地域住民</td> <td>630件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都市部市民</td> <td>200件</td> <td>計</td> <td>830件</td> </tr> <tr> <td>回収</td> <td>中山間地域住民</td> <td>365件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都市部市民</td> <td>100件</td> <td>計</td> <td>465件</td> </tr> </table>					発送	中山間地域住民	630件				都市部市民	200件	計	830件	回収	中山間地域住民	365件				都市部市民	100件	計	465件
発送	中山間地域住民	630件																							
	都市部市民	200件	計	830件																					
回収	中山間地域住民	365件																							
	都市部市民	100件	計	465件																					
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	パブリックコメントの実施について (R6.10月予定)																								
担当課	(とりまとめ) 市民協働・地域 政策課 (中山間地域 振興担当)	担当者	夏目 聖	電話	922-0200																				

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

				教師2名	・地域資源を生かしたイベントが多く、地域を深く知ることができる。	・土砂災害が多い
	座談会	6月19日（月）	水窪山村開発センター	10名	・お祭りで水窪町を活性化したい。 ・老々介護でも近所や親戚と助け合って頑張って生活している。 ・自然の宝庫で景色がきれい。 ・浜松山里いきいき隊は良い制度。助けてもらっている。更に人員を増やしてもらいたい。	・都市部と交流できる仕組みを作ってもらいたい。 ・有害鳥獣が増加している。 ・若い人たちの働く場所がない。 ・道路は1回崩れると復旧に時間がかかる。仮復旧しい。
	ワークショップ	6月20日（火）	天竜児童館	23名	・ボランティア団体が盛んに地域活動に取り組んでいる。 ・地域の連携、住民同士の関わりが深く、つながり意識の高さを感じる。 ・都市部への交通手段（遠鉄電車）があり便利。	・避難所の見直しをしてほしい。 ・商店が減少している。 ・子供たちが遊べる場所がない。
平自	座談会	6月21日（水）	大地野老人憩いの家	9名	・地域内での助け合いが当たり前に出てきている。 ・隣家まで10mくらいの距離で住めるのは贅沢である。 ・車などの騒音がなく、空気が澄んでいてとても暮らしやすい。 ・水がとてもきれいで安心して飲める。	・通院に1時間以上かかってしまう。 ・道路の整備・改修をしてほしい。 ・地域行事が人口減少により実施困難。
	ワークショップ	6月23日（金）	天竜区役所	19名	・自然に囲まれ、のびのび生活ができる。 ・子供の数が少ない分、先生の目が行き届いた教育ができていると感じる。 ・自然が多く、子育てにはとても良い環境。	・公共交通機関（バス）の本数が少なく不便。 ・天竜高校への通学手段が少なく不便。 ・子供たちが遊べる場所がない。
	座談会	6月28日（水）	都田協働センター	26名	・地域外から入ってきた人たちを優しくもてなし、細々とでも町を残していこうという意志を見せたい。 ・祭典や敬老会など自治会と女性部と手を取り合い開催していきたい。 ・空気が美味しく景色が綺麗。	・一人暮らしの高齢者が増加。 ・空き家が増加している。 ・「移動スーパー」や「ここにこバス」は将来必
	ワークショップ	6月29日（木）	佐久間協働センター	生徒8名 教師2名	・自然が豊かで空気が綺麗。 ・地域の人たちが優しく、住民同士の距離がとても近く感じる。 ・民族的な文化が残っており、伝統を大事にする人が多い。	・土砂崩れなど自然災害が多い。 ・コンビニエンスストアがなく不便。 ・JR飯田線の本数が少なく不便。
	座談会	7月3日（月）	大野集会場	13名	・地域内住民同士協調性があり、自治会活動参加に積極的。 ・自分達で出来る事はやろうという団結力がある。 ・住民全ての人と遠慮なく、快く挨拶や会話ができる。	・林道は生活道路。最低でも月に1回は点検をしを確保して欲しい。 ・飲料水供給施設の維持は補助金をもらってやっ
	座談会	7月3日（月）	佐久間協働センター	9名	・昔から住民同士の繋がりを大切にする意識があり、地域活動には多数の参加者がある。 ・若者が地域に入って活動してくれるのは非常に心強い。 ・ひかり回線がつながるようになった。	・災害時の道路早期復旧を望む。 ・農林業等第1次産業の発展を望む。 ・高齢者福祉施設のスタッフ不足への対応。
	ワークショップ	7月4日（火）	春野協働センター	20名	・森林が綺麗に整備されているまちにしたい。 ・若者が暮らしやすい町にしたい。 ・“少ない人口で暮らし続けられる郷土”という基本方針を持つ。	・医療機関を維持してほしい。 ・産業を誘致してほしい。 ・保育ママをもっと使える仕組みにしてほしい。 ・町外から人（若手）を連れてくる。
	座談会	7月5日（水）	三ヶ日協働センター	12名	・地域の人たち、児童保護者が学校行事に協力的。 ・マリンスポーツなど観光資源が豊富。 ・三ヶ日みかんブランドの健在。	・農業の後継者不足による耕作放棄地の増加。 ・有害鳥獣の増加。生態系が変わってきているよ ・山間部は交通の不便さが心配。
	ワークショップ	7月6日（木）	春野協働センター	20名	・春野町に住んでいる人が夢を持てるような町にしたい。 ・若い人たちが楽しく生活できるような町にしたい	・公共交通機関（バス）の本数が少なく不便。 ・災害になりそうな箇所の事前防災対策や、迂回

	座談会	7月15日（土）	野田自治会館	17名	・移動販売が来るようになり、週に1回は地域で買い物ができるようになった。 ・都市部の住民と交流できる場があるといい。野田地区の新たな発見ができる。 ・空き家や情報発信を上手にを使って、地域に関心を持ってもらえる人が増えるといい。 ・ひかり回線が繋がったため、Wi-Fiが使えるようになった。	・人口減少により自治会維持が困難となってくる。 ・災害時の迂回路の整備をしてほしい。 ・災害時、県をまたいだ迂回路となる道路状況の ・ふれあいバスの存続が危ぶまれる。
	座談会	7月18日（火）	佐久間協働センター	8名	・地域に花火大会があるのは素晴らしいと思う。 ・「いる人」の幸せをとっても大切にしてくれる地域。 ・高齢者福祉施設に幼稚園児や高校生がボランティアで支援してくれる。	・人口減少により湖北高校佐久間分校がいつまで ・スクールバスの運用を柔軟にしてほしい。 ・山香地区から城西地区までの国道を整備してほしい。
	ワークショップ	7月25日（火）	春野協働センター	21名	・若い人たちが暮らしやすい町にしたい。 ・春野愛であふれる町にしたい。 ・春野町が100年先もいきいきした町であってほしい。	・若者がチャレンジしやすい環境をつくる。 ・子供の預け先の整備など子育て環境を充実して ・今後の課題を集約し、行政と協力して前に進め
から	座談会	7月27日（木）	水窪協働センター	12名	・地域ぐるみで子供を見守ってくれており、とても助かっている。 ・地域の良いところをPRし、移住者が来てくれたらうれしい。 ・授業内容が手厚いと思う。	・自助、公助、共助は一定の理解はできるが、十 - う。 ・湖北高等学校佐久間分校が無くならないか不安 ・自治会の役など住民一人当たりの負担が増えて
	ワークショップ	8月4日（金）	伊平基幹集落センター	15名	・自然が豊かで水資源が豊富。 ・インターが近くて便利。 ・のびのびした子育てができる。 ・Welcome集落制度をもっとPRして移住者を増やしてほしい。	・自然災害が多い。 ・公共交通機関が少なく不便、また、地域にガソ ・若年層世代の就職先がない。
	ワークショップ	8月20日（日）	田沢多目的集会所	8名	・自然が豊かで空気が澄んでいる。 ・高速道路インターが近く、都市部へ行きやすい。 ・地域間の交流やつながりがある。	・公共交通機関（バス）が少ないため、車がない ・買い物が不便。 ・避難地に行くのに川沿いから崩れそうなところ
	座談会	12月6日（水）	龍山協働センター	7名	・移動販売が薬も持ってきてくれるため助かっている ・一人暮らしの高齢者世帯が増えているが、お互い助け合って生活している。 ・山里いきいき応援隊が地域サロンに来てくれて助かっている。	・空き家が増加している。 ・地域NPOが人手不足により活性化できていない。 ・ふれあいバスの停留所まで歩くのがたいへん。
	座談会	12月6日（水）	龍山森林文化会館	16名	・地域づくりに森林環境贈与税を充当して、対応していけば天竜区は先進地となるのではないかと	・災害時の迂回路が危険であるため市道・林道等 - たい。 ・人口減少により耕作放棄地や空き家が増加して ・農地を放置する家が多くなり、有害鳥獣が増加
			合計	314名	【生活】・移動販売は非常に便利。 ・若者が地域へ入って活動してくれるのは力強い。若い戦力を入れて地域を守っていくことが大切。 ・空き家や情報発信を上手にを使って、地域に関心を持ってもらえる人が増えるといい。 ・光回線がつながり、通信環境が向上した。 【環境】・自然が豊かで住みやすい。 【子育て】・地域ぐるみでの子供の見守り（登下校時等）や自然に恵まれているので、のびのびと子供を育てられる。 【コミュニティ】・地域内での協調性や団結力があり、助け合いができています。住民同士の関わり、つながりが深く距離が近い。	【生活】・人口減少による空き家や耕作放棄地の 【環境】・農林道として利用している生活道の整 波状況の悪い箇所がある。 【交通】・地域コミュニティバスなど公共交通機 や高齢者等の移動が不便。 ・車がないと生活が不便。 【防災】・災害時に備えた迂回路整備や改修をし にくい場所がある。 ・道路は1回崩れると復旧に時間がかかる。仮復 - しい。 ・災害時、農林道や市道の早期復旧をしてほし

「中山間地域」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域住民アンケート

結果概要

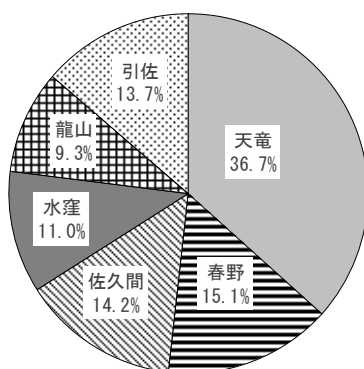
- ◆このアンケート調査は、令和7年度を始期とする第三次浜松市中山間地域振興計画を作成するにあたっての基礎資料とするため、中山間地域にお住まいの方を対象に行なったものです。
- ◆このアンケート調査は、上記区域内の18歳以上（R6.1.24現在）の方から無作為に抽出した630の方に送付し、365の方に回答をいただきました。

■ 集計上の留意点

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 「全体」を基数とし、回答割合はこれを100.0%として算出した。
- (3) 複数回答が可能な質問でも、基数となる実数は「全体」であるため、パーセントの合計は通常100.0%を超える。

1 回答者について

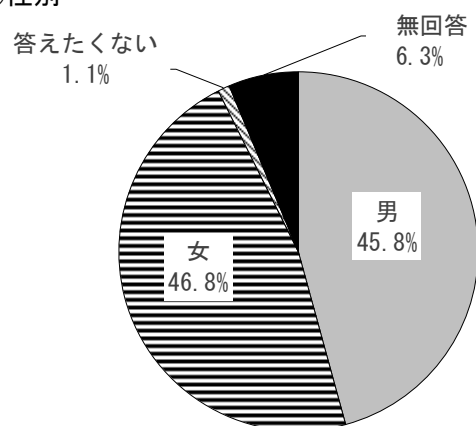
問1 あなたのお住まいの地域について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。



	回答数	割合
天竜地域	134	36.7%
春野地域	55	15.1%
佐久間地域	52	14.2%
水窪地域	40	11.0%
龍山地域	34	9.3%
引佐地域	50	13.7%
無回答	0	0.0%
全 体	365	100.0%

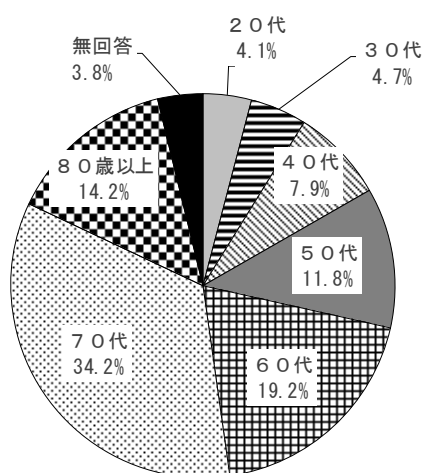
問2 あなたの性別・年代について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

①性別



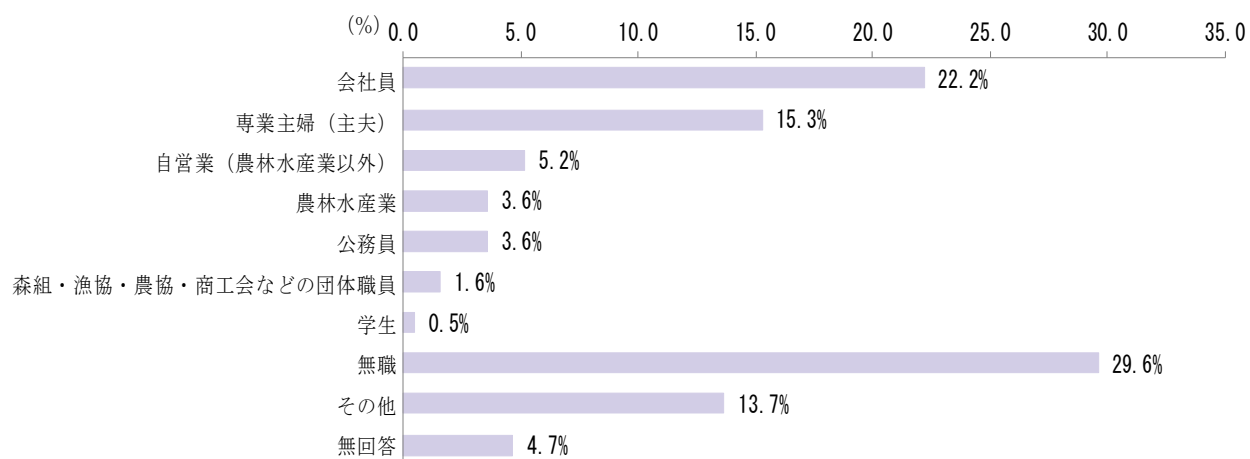
	回答数	割合
男	167	45.8%
女	171	46.8%
答えたくない	4	1.1%
その他	0	0.0%
無回答	23	6.3%
全 体	365	100.0%

②年代



	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	15	4.1%
30代	17	4.7%
40代	29	7.9%
50代	43	11.8%
60代	70	19.2%
70代	125	34.2%
80歳以上	52	14.2%
無回答	14	3.8%
全 体	365	100.0%

問3 あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください

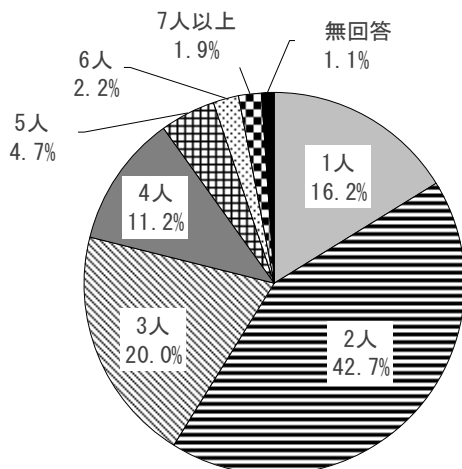


	回答数	割合
会社員	81	22.2%
専業主婦（主夫）	56	15.3%
自営業（農林水産業以外）	19	5.2%
農林水産業	13	3.6%
公務員	13	3.6%
森組・漁協・農協・商工会などの団体職員	6	1.6%
学生	2	0.5%
NPO法人職員	0	0.0%
無職	108	29.6%
その他	50	13.7%
無回答	17	4.7%
全 体	365	100.0%

2 世帯の状況について

問4 あなたの世帯の人数について、お答えください。

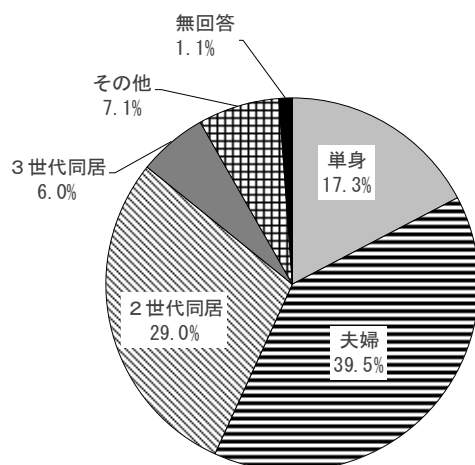
(あなたを含めた人数を記入してください)



	回答数	割合
1人	59	16.2%
2人	156	42.7%
3人	73	20.0%
4人	41	11.2%
5人	17	4.7%
6人	8	2.2%
7人以上	7	1.9%
無回答	4	1.1%
全 体	365	100.0%

問5 あなたの世帯の構成について、お答えください。

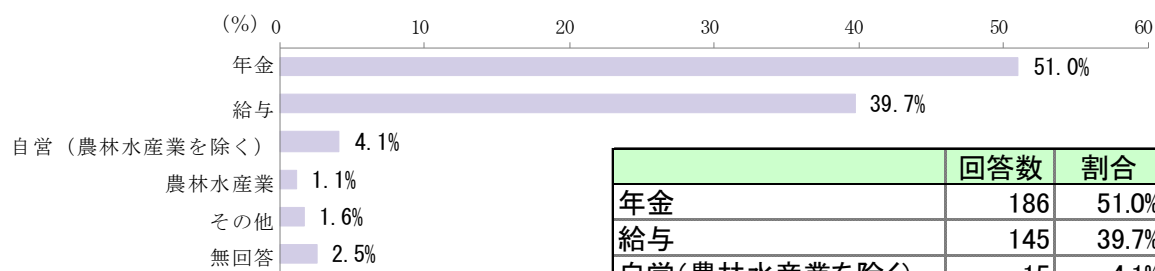
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
単身	63	17.3%
夫婦	144	39.5%
2世代同居	106	29.0%
3世代同居	22	6.0%
その他	26	7.1%
無回答	4	1.1%
全 体	365	100.0%

問6 あなたの世帯における収入について、お答えください。

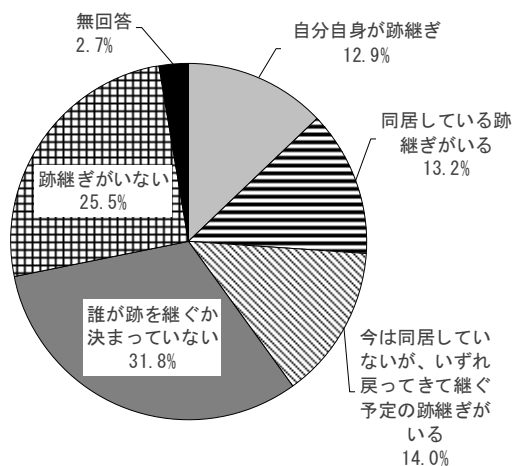
(最も多く収入を得ているもの1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
年金	186	51.0%
給与	145	39.7%
自営(農林水産業を除く)	15	4.1%
農林水産業	4	1.1%
その他	6	1.6%
無回答	9	2.5%
全 体	365	100.0%

問7 あなたの家の跡継ぎについて、お答えください。

(1つ選んで○をつけてください)

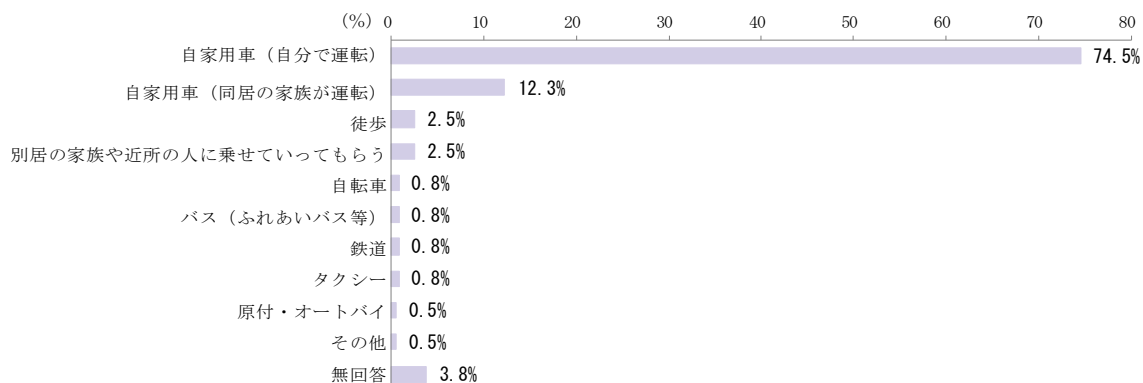


	回答数	割合
自分自身が跡継ぎ	47	12.9%
同居している跡継ぎがいる	48	13.2%
今は同居していないが、いずれ戻ってきて継ぐ予定の跡継ぎがいる	51	14.0%
誰が跡を継ぐか決まっていない	116	31.8%
跡継ぎがいない	93	25.5%
無回答	10	2.7%
全 体	365	100.0%

3 日常生活の状況について

問8 買い物や通院の際に最も利用する交通手段について、お答えください。

(1つ選んで○をつけてください)

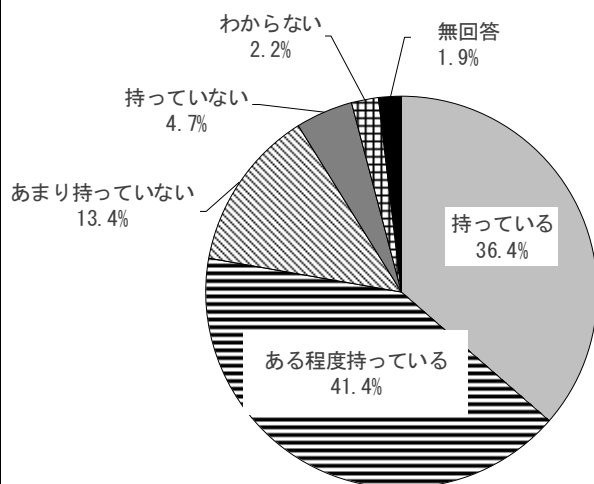


	回答数	割合
自家用車（自分で運転）	272	74.5%
自家用車（同居の家族が運転）	45	12.3%
徒歩	9	2.5%
別居の家族や近所の人に乘せていってもら	9	2.5%
自転車	3	0.8%
バス（ふれあいバス等）	3	0.8%
鉄道	3	0.8%
タクシー	3	0.8%
原付・オートバイ	2	0.5%
その他	2	0.5%
無回答	14	3.8%
全 体	365	100.0%

4 お住まいの地域・生活について

問9 あなたは、暮らしている地域に対する「愛着」や「誇り」をお持ちですか。

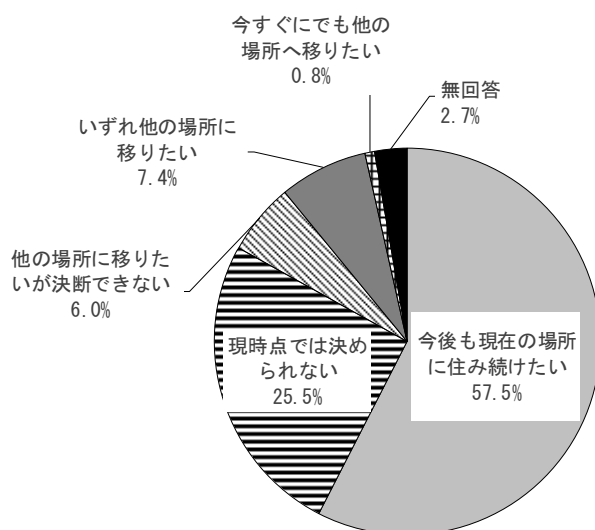
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
持っている	133	36.4%
ある程度持っている	151	41.4%
あまり持っていない	49	13.4%
持っていない	17	4.7%
わからない	8	2.2%
無回答	7	1.9%
全 体	365	100.0%

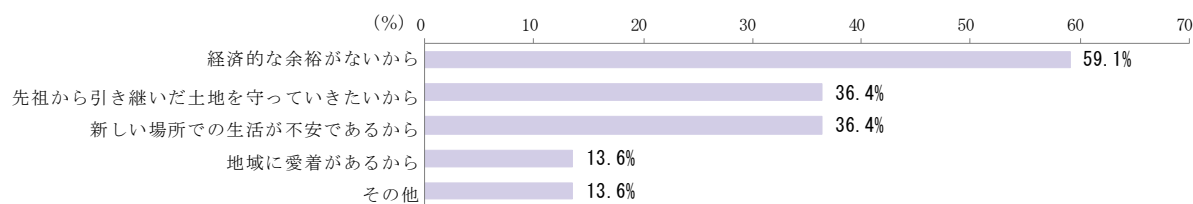
※問10は、14ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問11 これからの生活について、お答えください。(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
今後も現在の場所に住み続けたい	210	57.5%
現時点では決められない	93	25.5%
他の場所に移りたいが決断できない	22	6.0%
いずれ他の場所に移りたい	27	7.4%
今すぐにも他の場所へ移りたい	3	0.8%
無回答	10	2.7%
全 体	365	100.0%

問 12 問 11 で「他の場所に移りたいが決断できない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。
(2 つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
経済的な余裕がないから	13	59.1%
先祖から引き継いだ土地を守っていききたいから	8	36.4%
新しい場所での生活が不安であるから	8	36.4%
地域に愛着があるから	3	13.6%
その他	3	13.6%
無回答	0	0.0%
全 体	22	100.0%

※問 13 は、15 ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問 14 問 11 で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きします。

移転する場合、現在の家屋や土地の扱いはどのように考えていますか。

(1 つ選んで○をつけてください)

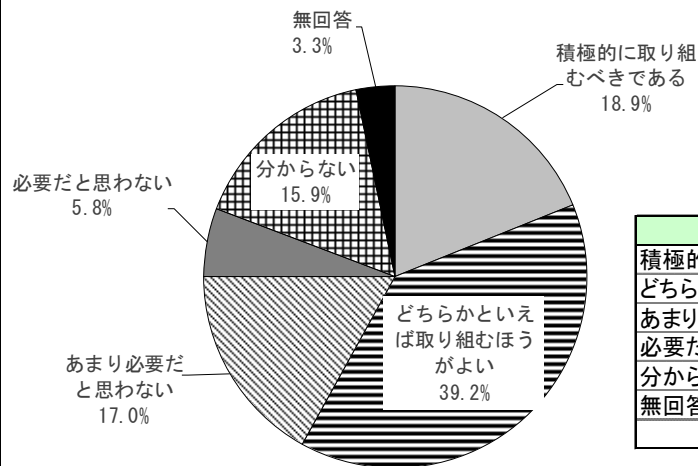


	回答数	割合
できれば売りたい	8	26.7%
取り壊したい	4	13.3%
今は特に考えていない	4	13.3%
農地や森林の管理をするために今後も利用する	3	10.0%
売るのも貸すのも考えていない	2	6.7%
将来帰ってこられるように、今後も管理していく	1	3.3%
売る気はないが、借りたい人がいれば貸しても良い	0	0.0%
その他	6	20.0%
無回答	2	6.7%
全 体	30	100.0%

5 都市との交流について

問 15 あなたは都市部の人たちとの交流についてどのようにお考えですか。

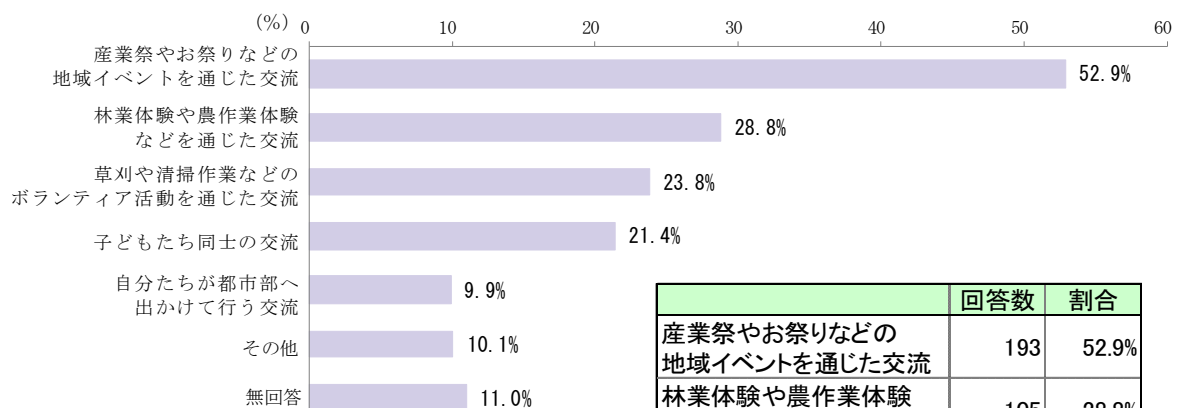
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
積極的に取り組むべきである	69	18.9%
どちらかといえば取り組むほうがよい	143	39.2%
あまり必要だと思わない	62	17.0%
必要だと思わない	21	5.8%
分からない	58	15.9%
無回答	12	3.3%
全 体	365	100.0%

問 16 都市部の人たちと交流するとしたら、どのような方法が好ましいと思いますか。

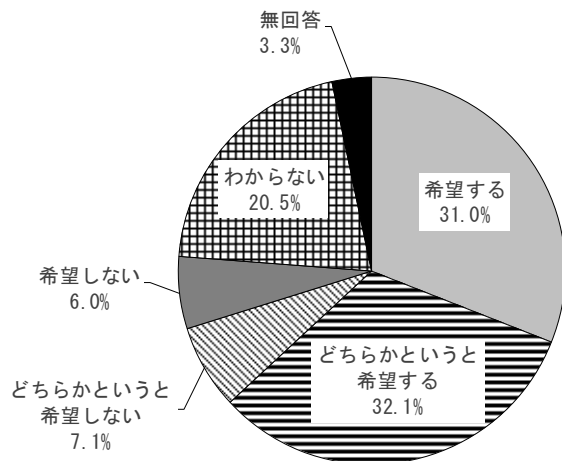
(最も好ましいと思う方法を2つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
産業祭やお祭りなどの地域イベントを通じた交流	193	52.9%
林業体験や農作業体験などを通じた交流	105	28.8%
草刈や清掃作業などのボランティア活動を通じた交流	87	23.8%
子どもたち同士の交流	78	21.4%
自分たちが都市部へ出かけて行く交流	36	9.9%
その他	37	10.1%
無回答	40	11.0%
全 体	365	100.0%

問 17 あなたの住んでいる地域や周辺に移住者が来ることを希望しますか？

(1つ選んで○をつけてください)

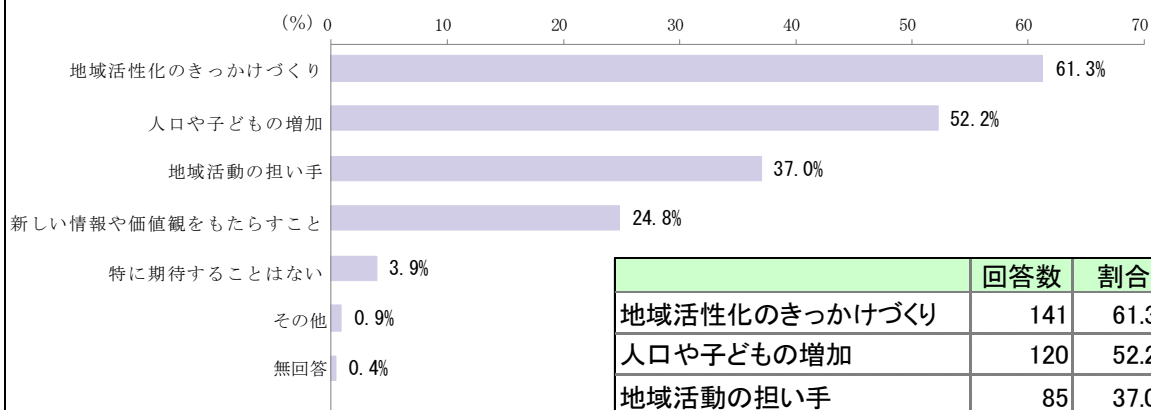


	回答数	割合
希望する	113	31.0%
どちらかという希望する	117	32.1%
どちらかという希望しない	26	7.1%
希望しない	22	6.0%
わからない	75	20.5%
無回答	12	3.3%
全 体	365	100.0%

問 18 問 17で「希望する」「どちらかという希望する」とお答えの方にお聞きします。

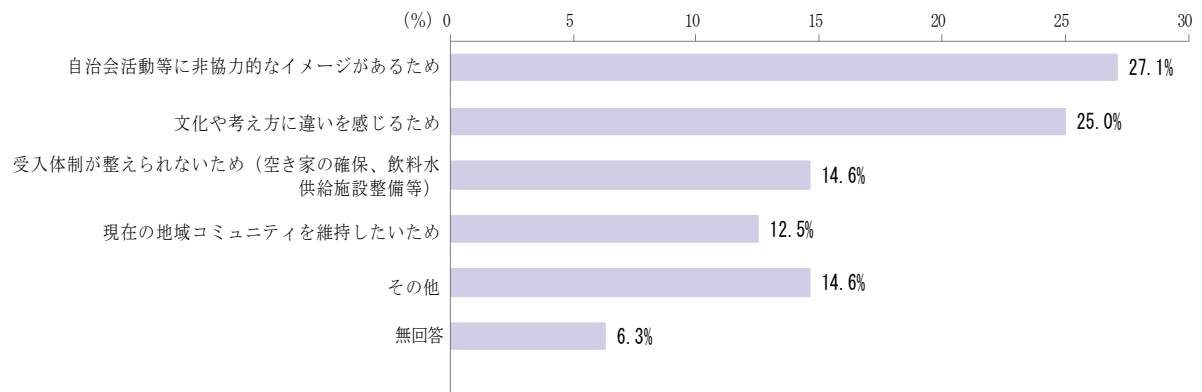
移住者にどのようなことを期待しますか。

(最も期待する項目を2つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
地域活性化のきっかけづくり	141	61.3%
人口や子どもの増加	120	52.2%
地域活動の担い手	85	37.0%
新しい情報や価値観をもたらすこと	57	24.8%
特に期待することはない	9	3.9%
その他	2	0.9%
無回答	1	0.4%
全 体	230	100.0%

問 19 問 17 で「どちらかという希望しない」「希望しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（１つ選んで○をつけてください）

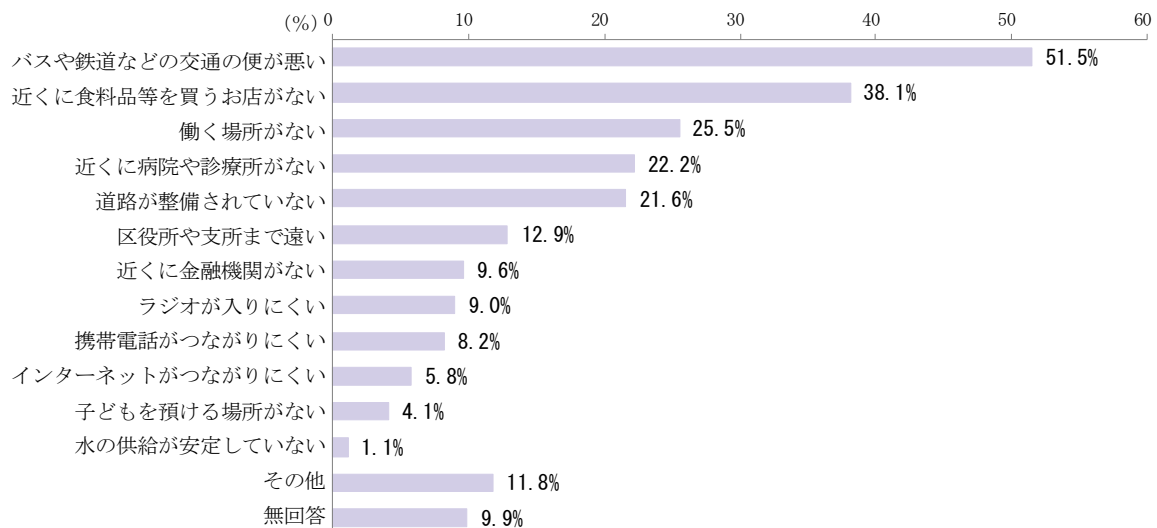


	回答数	割合
自治会活動等に非協力的なイメージがあるため	13	27.1%
文化や考え方に違いを感じるため	12	25.0%
受入体制が整えられないため （空き家の確保、飲料水供給施設整備等）	7	14.6%
現在の地域コミュニティを維持したいため	6	12.5%
その他	7	14.6%
無回答	3	6.3%
全 体	48	100.0%

6 生活上の課題や対策について

問 20 現在の日常生活において不便に思うことは何ですか？

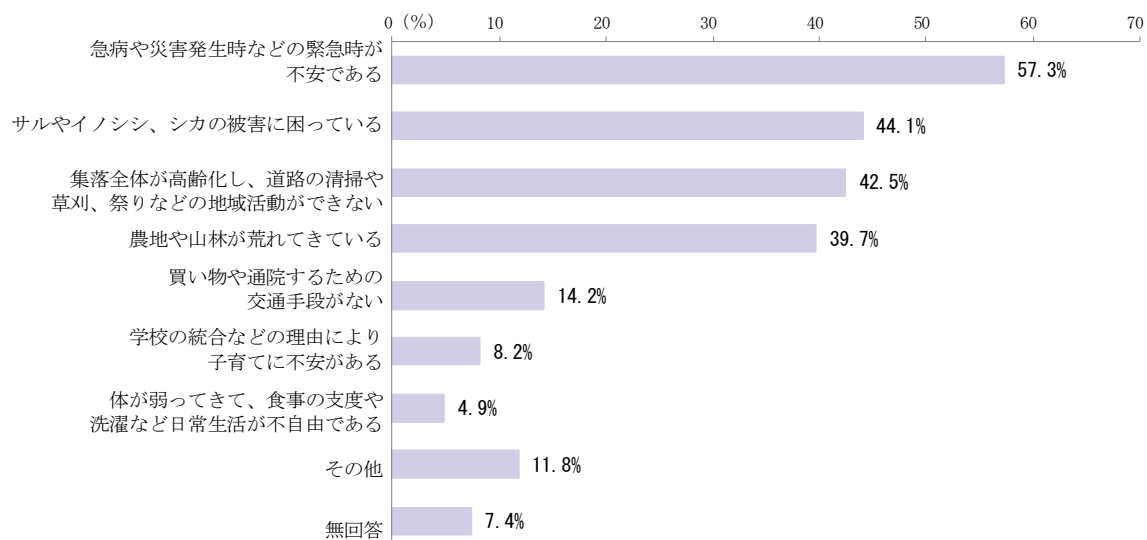
(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
バスや鉄道などの交通の便が悪い	188	51.5%
近くに食料品等を買うお店がない	139	38.1%
働く場所がない	93	25.5%
近くに病院や診療所がない	81	22.2%
道路が整備されていない	79	21.6%
区役所や支所まで遠い	47	12.9%
近くに金融機関がない	35	9.6%
ラジオが入りにくい	33	9.0%
携帯電話がつながりにくい	30	8.2%
インターネットがつながりにくい	21	5.8%
子どもを預ける場所がない	15	4.1%
水の供給が安定していない	4	1.1%
その他	43	11.8%
無回答	36	9.9%
全 体	365	100.0%

問 21 現在の生活で心配なことや困っていることは何ですか。

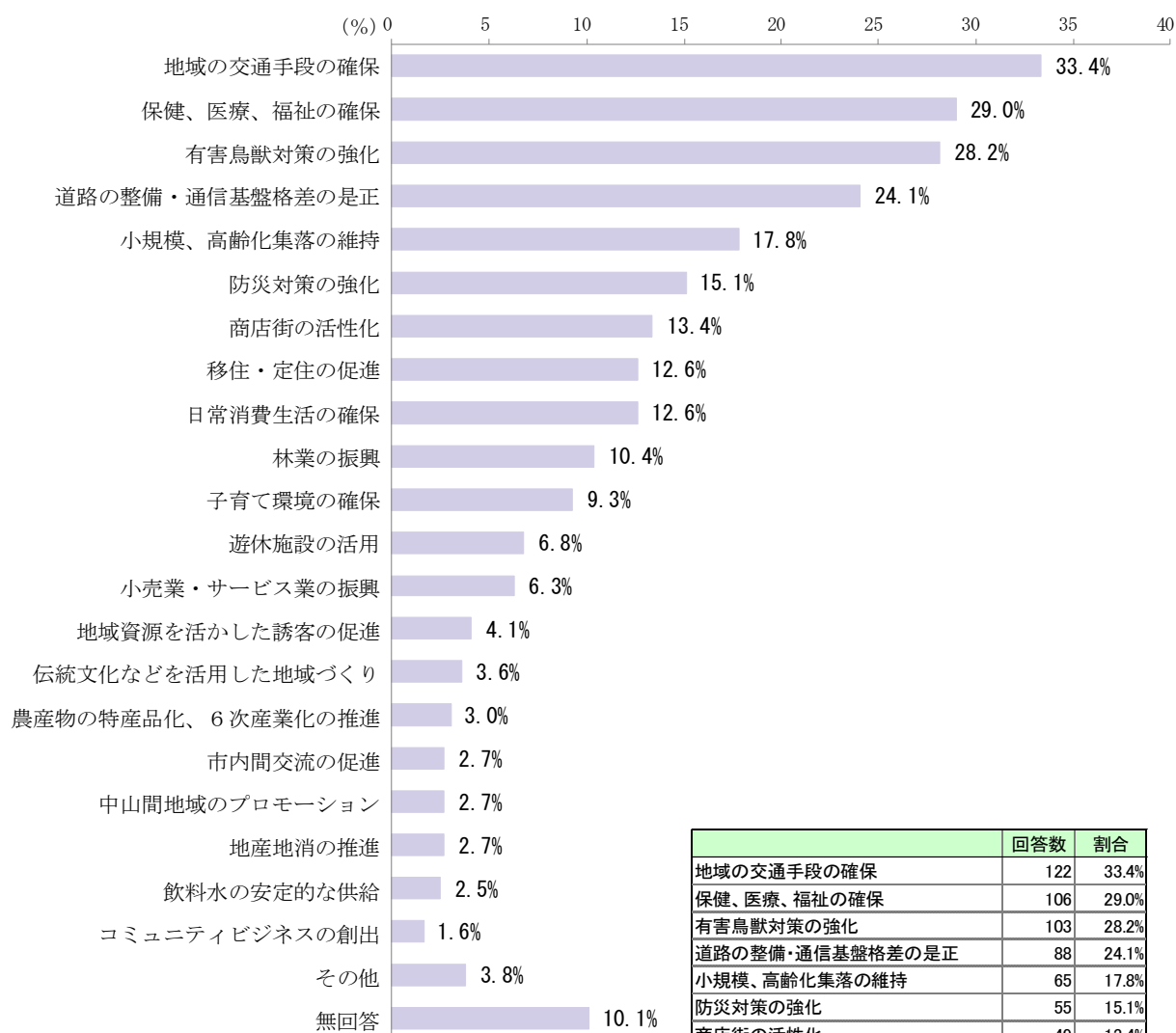
(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
急病や災害発生時などの緊急時が不安である	209	57.3%
サルやイノシシ、シカの被害に困っている	161	44.1%
集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	155	42.5%
農地や山林が荒れてきている	145	39.7%
買い物や通院するための交通手段がない	52	14.2%
学校の統合などの理由により子育てに不安がある	30	8.2%
体が弱ってきて、食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	18	4.9%
その他	43	11.8%
無回答	27	7.4%
全 体	365	100.0%

問 22 今後の中山間地域への施策として、最も望むことは何ですか。

(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
地域の交通手段の確保	122	33.4%
保健、医療、福祉の確保	106	29.0%
有害鳥獣対策の強化	103	28.2%
道路の整備・通信基盤格差の是正	88	24.1%
小規模、高齢化集落の維持	65	17.8%
防災対策の強化	55	15.1%
商店街の活性化	49	13.4%
移住・定住の促進	46	12.6%
日常消費生活の確保	46	12.6%
林業の振興	38	10.4%
子育て環境の確保	34	9.3%
遊休施設の活用	25	6.8%
小売業・サービス業の振興	23	6.3%
地域資源を活かした誘客の促進	15	4.1%
伝統文化などを活用した地域づくり	13	3.6%
農産物の特産品化、6次産業化の推進	11	3.0%
市内間交流の促進	10	2.7%
中山間地域のプロモーション	10	2.7%
地産地消の推進	10	2.7%
飲料水の安定的な供給	9	2.5%
コミュニティビジネスの創出	6	1.6%
その他	14	3.8%
無回答	37	10.1%
全 体	365	100.0%

問 10 あなたが望む中山間地域の将来像はどのようなイメージですか。（自由記述）

- ・近くに病院（診療所等）、食品店があること。
- ・医療や生活に安心できるまち。
- ・年寄りが困らないまち。（買い物、病院等。）
- ・医療、福祉の充実した安心して暮らせるまち。
- ・安心、安全に子育てができるまち。
- ・子育てしやすい、若い人達が住み続けられる。
- ・人口は少なくとも公共交通機関や身近な医療が確保され、安心して住める田舎地域。
- ・安心安全はもちろんですが、交通手段も心配がいない地域でいられるようになると良いです。
- ・歳をとって車の運転が出来なくなっても生活に困らない地域。
- ・交通の便が確保されているまち。
- ・公共交通手段が有り市街と移動出来る地域。
- ・働ける場所がある。若い人が多くいるまち。
- ・仕事を続けながら、安心して暮せるまち。
- ・買い物、クリニックなど社会インフラがあるまち。
- ・生活に必要な物が近くで手に入る地域。
- ・子どもたちが生活しやすいまち。（学校などが近くにある。）
- ・友達に自慢できるまち。
- ・ずっと住み続けられるまち。
- ・自然と共生しながら、暮らしやすいまち。
- ・住み慣れた地域で、自分らしい生活ができるまち。
- ・学校がなくなり、駐在所もなくなり、農協もなくなり、盛大だった祭りも人が減って活気がなくなり、増えるのは一人暮らしの老人とシカとイノシシばかり、あと5年もすると農地の維持もできなくなり絶望的です。
- ・若い人がいなくなり高齢者ばかりになり助け合って生活していても限界がきて住み続けることができなくなるまち、空き家ばかりになるまちになるのではないか。
- ・自然環境の中で、自分が動き生かされているのであればこのままで暮らしたい。家のまわりは亡くなったり、町に出て行ったりで、家は残っているが人が居なく限界集落に近く将来像と言われてもピンときません。
- ・少ない人口ながらも、まちに活気があり、誰もが笑顔でいきいきと暮らせるまち。
- ・買い物、通院ができ、健康、学びをサポートして頂ける幸福度の高いまち。
- ・若い世代が増えて活気あふれるまち。
- ・ずっと住み継がれるまち。
- ・年を取っても、いきいきと暮らせるまち。
- ・病院があり、食品等の買い物ができる店があり、道路が安全・便利に整備されていることで自立して生活できるので、それを実行してくれる市政が機能し続けること。
- ・想像できないのでわからない。
- ・特別なイメージはわからない。

- ・若い移住者であふれるまち。
- ・住民同士が協力し、助け合いながら暮らせるまち。
- ・現在より人々の交流が盛んなまち。
- ・高齢者が住みなれたこの土地で隣近所の助け合い精神で高齢者を支え、行政など（ふれあいセンター）と繋がりのあるまち。
- ・住民による支え合い、助け合いと公的支援のシステムが整っているまち。
- ・若い人達がふえて、皆が助け合って暮らせるまち。
- ・高齢化は進み、人口は減少していくが、住民が助け合い、自分達でできる事はしていく。
- ・人の交流が盛んになって山間地の良さが共有できる様になってくるまち。
- ・子供から老人まで健康で、安全に暮らせる地域。
- ・災害時安心して暮らせる地域。

問 13 問 11 で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きします。移転を希望する理由を教えてください。

- ・高齢になった時、医療が不安。
- ・子どもの進学を考えると、今、生活の移動に労力がかかっている。
- ・街へのアクセスが良くない。公共交通機関が少ないので、いずれ高齢者になったとき、自分で外出しづらくなるのが少し不安。外灯が少ない。今の場所に居住するメリットがあまり見つけられない。
- ・運転出来なくなったら生活できない。
- ・通勤に時間がかかる。
- ・移りたいと言うより、移らざるを得ない。自分で車を運転できなければ生活の手段がないから。
- ・社会資源も無くなり、人材も居なくなるから継続は出来ない。
- ・水道の件、水がなくなった時一番困るから。今は自分達で管理していますが出来なくなった時困るので、その時は他の場所に移ります。
- ・一人での生活が不安だから。

その他、中山間地域振興に対するご意見。（自由記述）

- ・介護施設が足りません。
- ・全部があてはまる事だと思う。特に医者ほしい。
- ・今後、保育園が統合されてしまうため、子どもの預け先に苦勞する親が増えるのではないかと心配しています。少子化も進んでいる今、子育てしながら働きやすい環境をぜひ作っていただき、子どもの数が増え、いきいきとしたまちづくりにつなげていただければ嬉しいです。
- ・自然の中で子育てをしたいと思っても、子どもの少なさが気になる。自然の中で子供をあそばせる良さを発信してほしい。
- ・子どもを育てやすい環境と支援。

- ・若い人達が地元に残って安心して子育てができるよう働く場所が確保できるようにとお願い致します。
- ・自動車の運転が出来なくなった時にバス、タクシーなどの交通手段がない事が一番困ります。
- ・生活道路の整備はライフラインの基盤である。路面の補修や落石防護ネットの設置等、自治会から要望が出た案件についてはすみやかに改善されるよう、予算の増額をお願いしたい。
- ・主要道路が通れなくなると（災害等）迂回路が遠回りで買い物難民になる。
- ・中山間地域振興には、まず、アクセス道路の整備が必要（都市部からの所要時間の短縮、安全な道路。（完全2車線化））
- ・中山間地域といっても、病院、銀行、電車、バスもあります。とりあえずの生活に苦はありません。ただ、道路が通行止めとなった場合、流通が止まってしまうのが一番困ります。仕事に通っている人も大勢います。安全な道路の確保をお願いしたいです。
- ・車道が崩れたりして、通行出来ない時は迂回路を早く整備して下さい。
- ・高齢者でも働ける場所を作ってもらいたい。
- ・中山間地域振興の決め手はとにかく働く場の確保が必要かと思う。
- ・中山間地域の自然を維持しながら、自然を活かした企業の誘致など人口が少しでも増える活動を官民で考える環境が必要ではないかと思う。
- ・仕事がないことで若い人が子供の将来を見据え街へ出ていく。
- ・移住する方が増えてくれるのは空き家対策等にもつながり、いいことだとは思いますが、トラブルも発生することが予想される。現にご近所トラブル（対移住者との）が数年前に実際にあったので、不安はある。買い物をする場所がなくなり、移動販売車が増えて助かっている部分もあるが、すぐには買い足しができないので、やっぱりお店は必要。
- ・幼・壮・老バランスのとれた人口構成になってはじめて地域が維持継承されると思います。それには何をおいても産業振興が必須の案件と考えます。この他に、今有る物は山林ですから、林産加工業を起こすことがいいのではないかと。
- ・中山間地域は、道路の整備や水道などの保守整備に多くの金が掛るので、都市部や外国人旅行者が訪れる魅力ある地域作りを行い、活性化を図ると良いと思う。
- ・有害鳥獣対策に本腰を入れてほしい。このままでは、集落の人口より鹿イノシシの数が多くなり生活ができなくなります。
- ・この地域では古い歴史を有している所である。その歴史をもう一度掘り起こしてみたらと思う。
- ・自然の中で生活できる事は何事にも変えられない。また誰もが持てるものではない幸せな日常だと思う。そんな日常が死まで続けられたらどんなにいいだろうと思う。そんな日常を過ごす事のできる、手助けがほしい。
- ・地域の住民が様々な事に関心を持ち、生活が向上することを願います。素晴らしい自然を生かして、世界中に知られる場所にもなると思います。若い方の力になりたいと思います。
- ・空き家を活用した移住促進。

- ・遊休農地を活用した市民農園（滞在型）の開設。
- ・都市部に比べて人口減少や高齢化が進んでいるので生活サービス、交通手段の確保、デジタル化が充実してほしいです。
- ・浜松の半分の面積は天竜区です。対処療法的なバラまき施策ではなく、中山間地域の魅力を発信していければと思います。また、そういった民間団体へ予算を出してやってもらうなどが良いかなと思います。
- ・都市部ばかりに手厚く、お金を掛け文化的、経済的、社会的整備がされている。森林や河川、水、電力などの貢献はあまり顧みていないと感じる。中山間地で生き、頑張る人々がたくさんいることを、より様々な交流を通して理解を深めて頂きたい。文化的施設や学校の撤廃ばかり進めず、住人の福祉、生活環境、文化的環境の充実をより図る方向で知恵を絞り実行して頂きたい。この調査をそのために活用願いたい。
- ・アンケートにかかれたことが少しでも反映されるといいです。
- ・人口減少のいちじるしい今日この頃どこまで減少が続くのか日々生活の中で原風景がどの様に変化していくのかと寂しい思いで過ごしています。人口増加につながらなければここでの生活を送ることは難しいのかと感じています。なんとか若い人達の流れを食い止め、活気ある町になってくれることを切に願っています。活気のある町作りの行政の力を期待しています。
- ・縦割り行政ではなく組織の横つながりをもって前例に固執せず、柔軟な対応がほしい。
- ・過疎化地域への活性化対策を望む。市街地優先が際立ち中山間地域との格差が拡大している。市内が同一レベルの生活圏となることを期待する。
- ・集落の高齢化が進んでいて、今後不安が大きい、安心して生活できるようにしてほしい。
- ・中山間地域の活性化のために関係人口を増やすような取り組みをしてほしい。
- ・地域でイベントがあっても知らないことがある。宣伝方法に工夫や変更が必要なのではないかと思うことがあります。
- ・今後起こるだろうと言われている天変地異に備えて、防災の意識を高めるよう啓発することや行政においても陸の孤島とならない様に準備をお願いしたいです。
- ・安全な避難所の設置をお願いします。
- ・近年の災害等により住みつづけるのに不安。
- ・都市部と中山間地域との格差を感じないサービスの充実化。中山間地域でも単身で安心安全に暮らせる充実感を感じる生活ができる様に希望します。
- ・国道の土砂災害対策、崩落後の早期復旧。

「都市部」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域アンケート 結果概要

- ◆このアンケート調査は、令和7年度を始期とする第三次浜松市中山間地域振興計画を作成するにあたっての基礎資料とするため中央区及び浜名区（中山間地域を除く）にお住まいの方を対象に行なったものです。
- ◆このアンケート調査は、上記区域内の18歳以上（R6.1.24現在）の方から無作為に抽出した200の方に送付し、100の方に回答をいただきました。

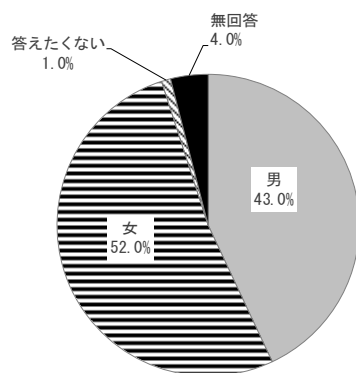
■ 集計上の留意点

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 「全体」を基数とし、回答割合はこれを100.0%として算出した。
- (3) 複数回答が可能な質問でも、基数となる実数は「全体」であるため、パーセントの合計は通常100.0%を超える。

1 回答者について

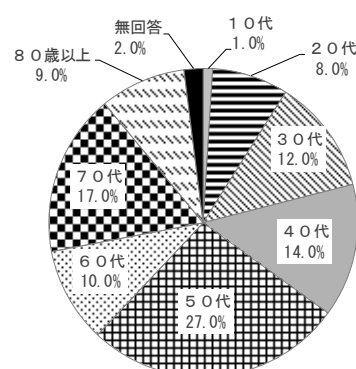
問1 あなたの性別・年代について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください

① 性別



	回答数	割合
男	43	43.0%
女	52	52.0%
答えたくない	1	1.0%
その他	0	0.0%
無回答	4	4.0%
全 体	100	100.0%

② 年代

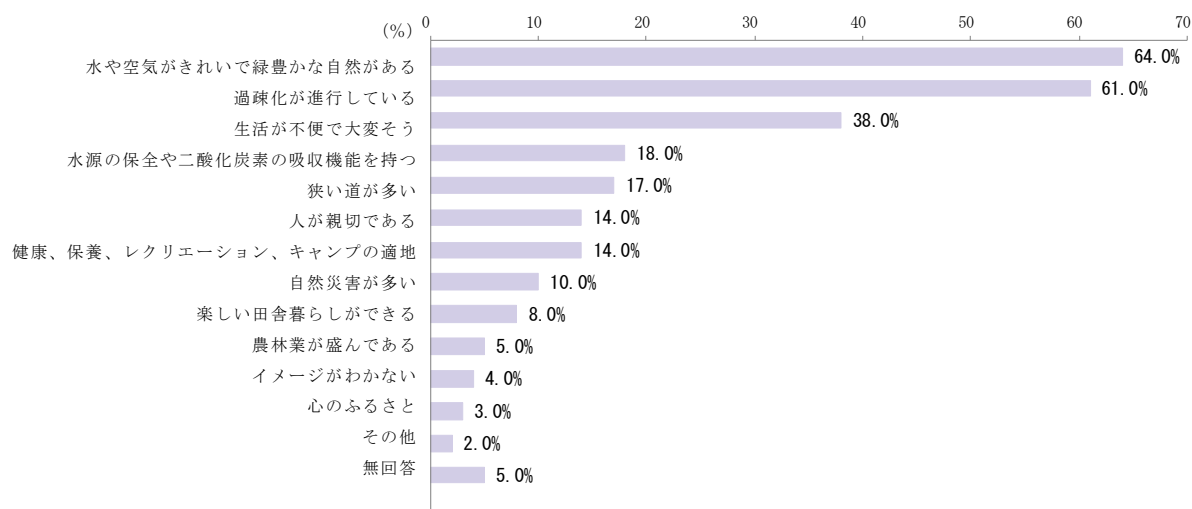


	回答数	割合
10代	1	1.0%
20代	8	8.0%
30代	12	12.0%
40代	14	14.0%
50代	27	27.0%
60代	10	10.0%
70代	17	17.0%
80歳以上	9	9.0%
無回答	2	2.0%
全 体	100	100.0%

2 中山間地域に対するイメージについて

問2 中山間地域に対してどのようなイメージをお持ちですか？

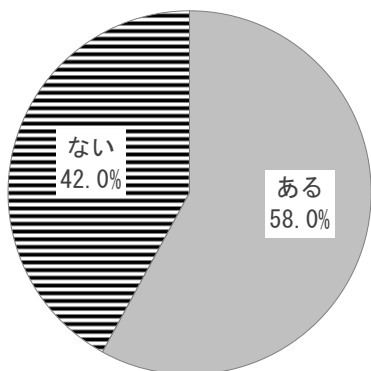
(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
水や空気がきれいで緑豊かな自然がある	64	64.0%
過疎化が進行している	61	61.0%
生活が不便で大変そう	38	38.0%
水源の保全や二酸化炭素の吸収機能を持つ	18	18.0%
狭い道が多い	17	17.0%
人が親切である	14	14.0%
健康、保養、レクリエーション、キャンプの適地	14	14.0%
自然災害が多い	10	10.0%
楽しい田舎暮らしができる	8	8.0%
農林業が盛んである	5	5.0%
イメージがわからない	4	4.0%
心のふるさと	3	3.0%
その他	2	2.0%
無回答	5	5.0%
全 体	100	100.0%

問3 過去1年間に浜松市内の中山間地域を訪れたことがありますか？

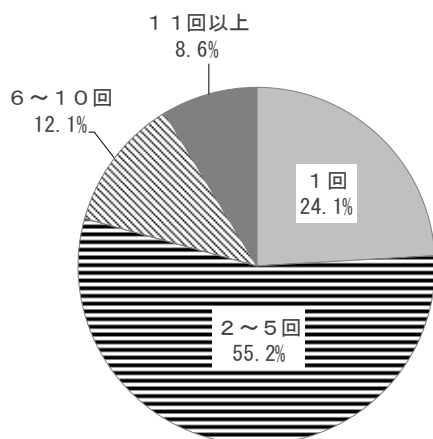
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
ある	58	58.0%
ない	42	42.0%
無回答	0	0.0%
全 体	100	100.0%

問4 問3で「ある」と答えた方に伺います。1年間でどの程度訪れましたか？

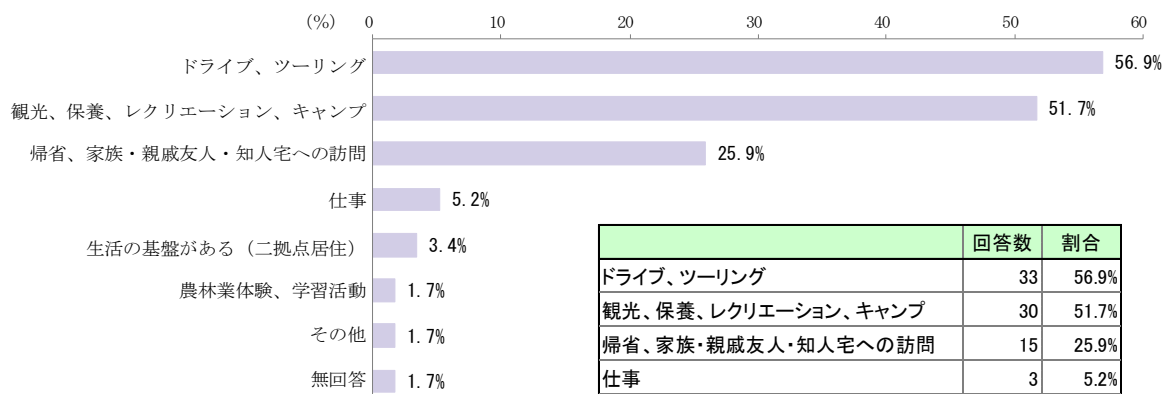
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
1回	14	24.1%
2～5回	32	55.2%
6～10回	7	12.1%
11回以上	5	8.6%
無回答	0	0.0%
全 体	58	100.0%

問5 問3で「ある」と答えた方に伺います。訪れた目的は何ですか？

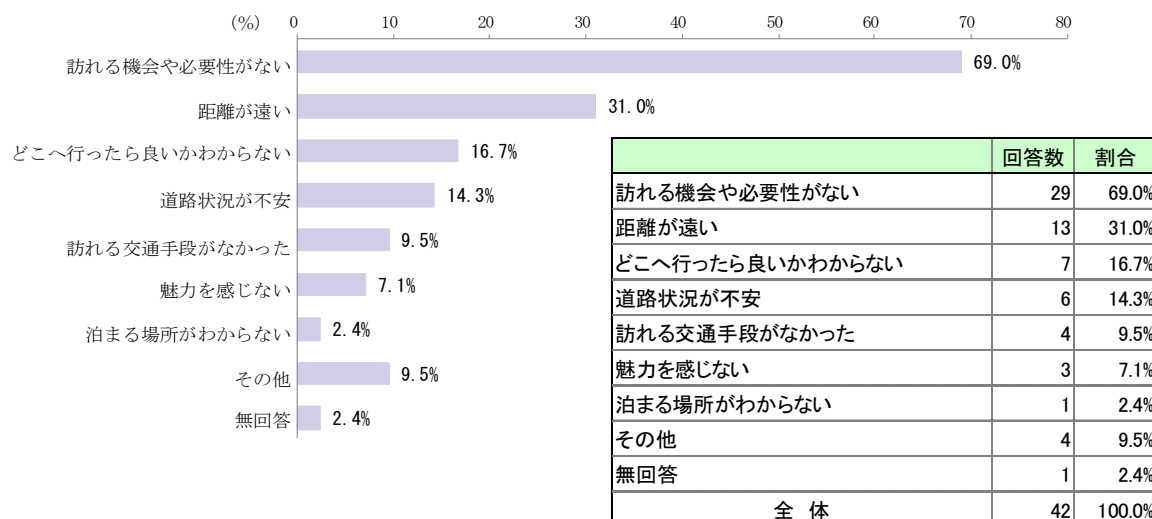
(2つまで選んで○をつけてください)



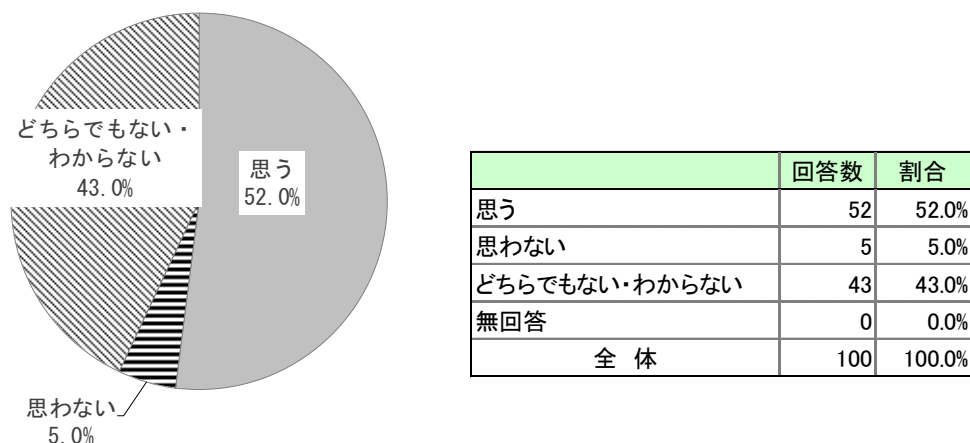
	回答数	割合
ドライブ、ツーリング	33	56.9%
観光、保養、レクリエーション、キャンプ	30	51.7%
帰省、家族・親戚友人・知人宅への訪問	15	25.9%
仕事	3	5.2%
生活の基盤がある(二拠点居住)	2	3.4%
農林業体験、学習活動	1	1.7%
その他	1	1.7%
無回答	1	1.7%
全 体	58	100.0%

問6 問3で「ない」と答えた方に伺います

訪れたことがない理由は何ですか？（2つまで選んで○をつけてください）

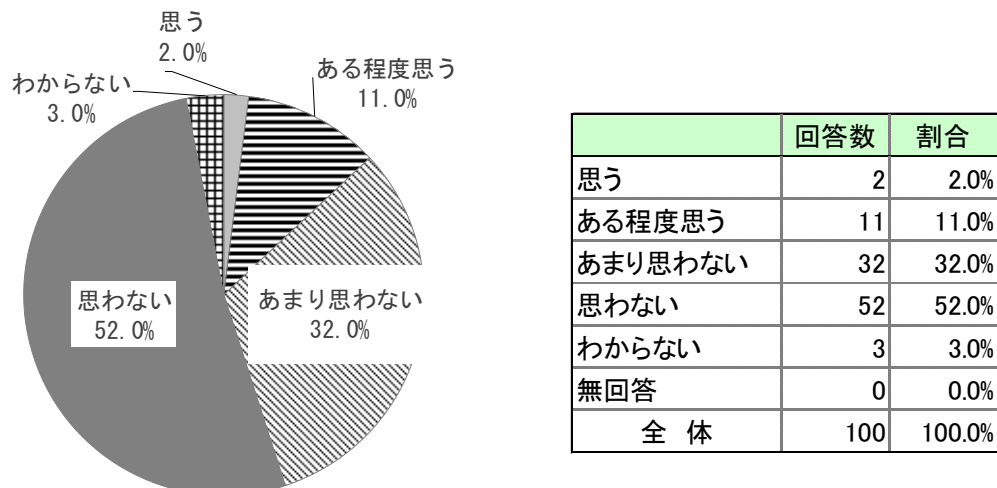


問7 中山間地域は市民にとって魅力的・大切な地域（浜松の宝）だと思いますか？

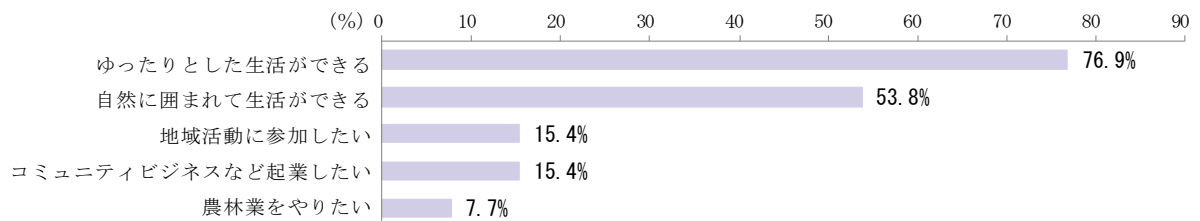


※問8は、10 ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問9 中山間地域に居住したいと思いますか？

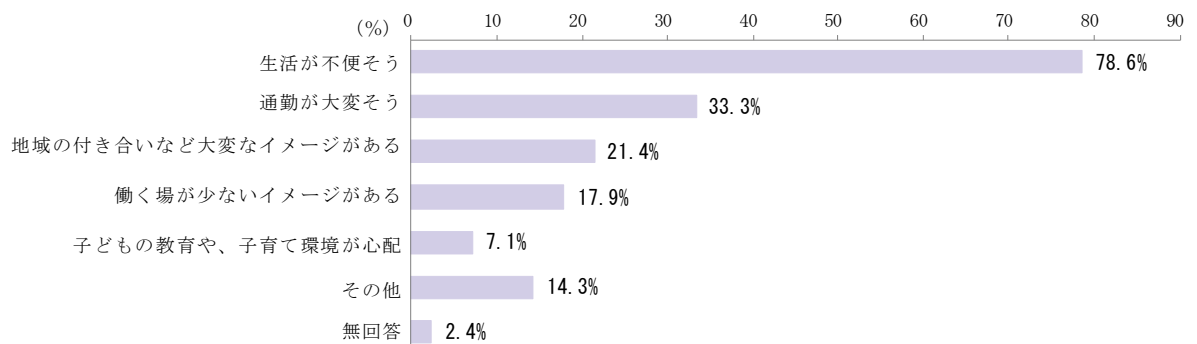


問 10 問9で「思う」または「ある程度思う」と答えた方に伺います。
 どのような理由ですか？ （2つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
ゆったりとした生活ができる	10	76.9%
自然に囲まれて生活ができる	7	53.8%
地域活動に参加したい	2	15.4%
コミュニティビジネスなど起業したい	2	15.4%
農林業をやりたい	1	7.7%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全 体	13	100.0%

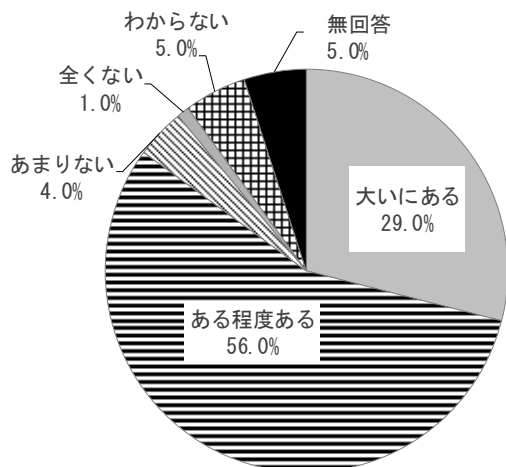
問 11 問9で「あまり思わない」または「思わない」と答えた方に伺います。どのような理由ですか？ （2つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
生活が不便そう	66	78.6%
通勤が大変そう	28	33.3%
地域の付き合いなど大変なイメージがある	18	21.4%
働く場が少ないイメージがある	15	17.9%
子どもの教育や、子育て環境が心配	6	7.1%
その他	12	14.3%
無回答	2	2.4%
全 体	84	100.0%

問 12 中山間地域は都市部と比べて生活環境に格差があると思いますか？

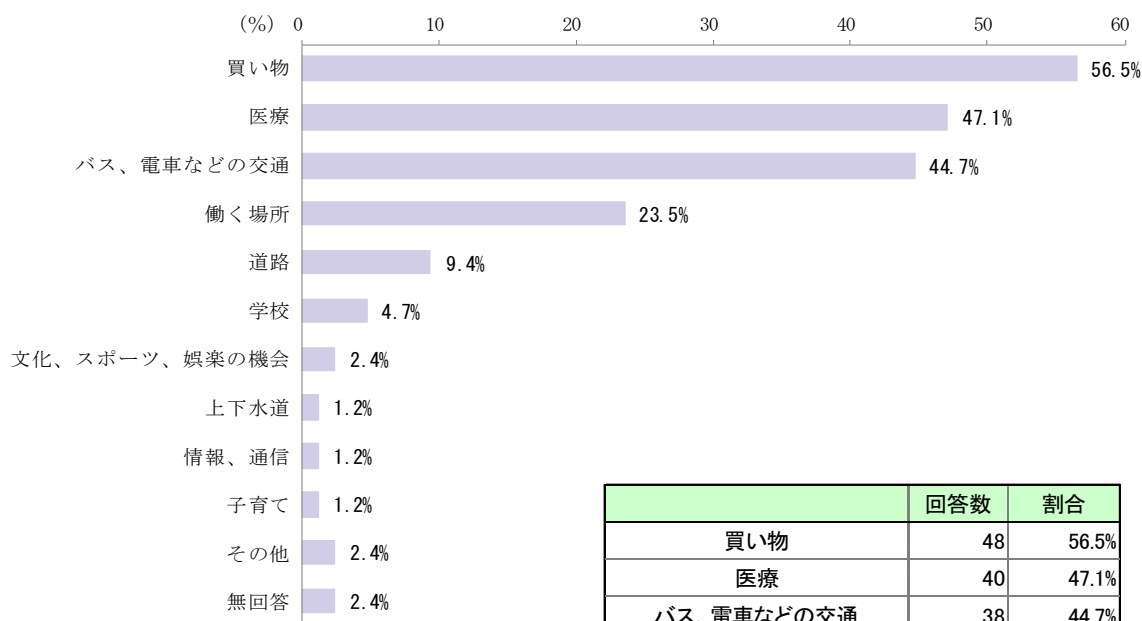
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
大いにある	29	29.0%
ある程度ある	56	56.0%
あまりない	4	4.0%
全くない	1	1.0%
わからない	5	5.0%
無回答	5	5.0%
全 体	100	100.0%

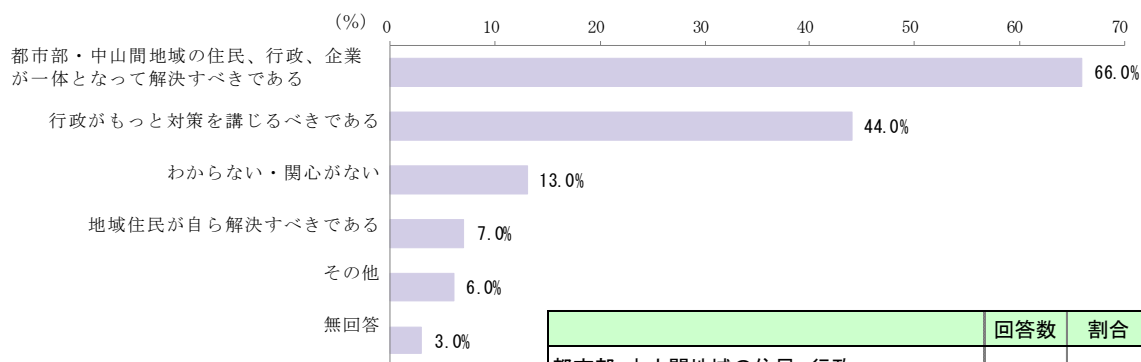
問 13 問 12 で「大いにある」または「ある程度ある」と答えた方に伺います。どのような格差があると思いますか？

(2つまで選んで○をつけてください)



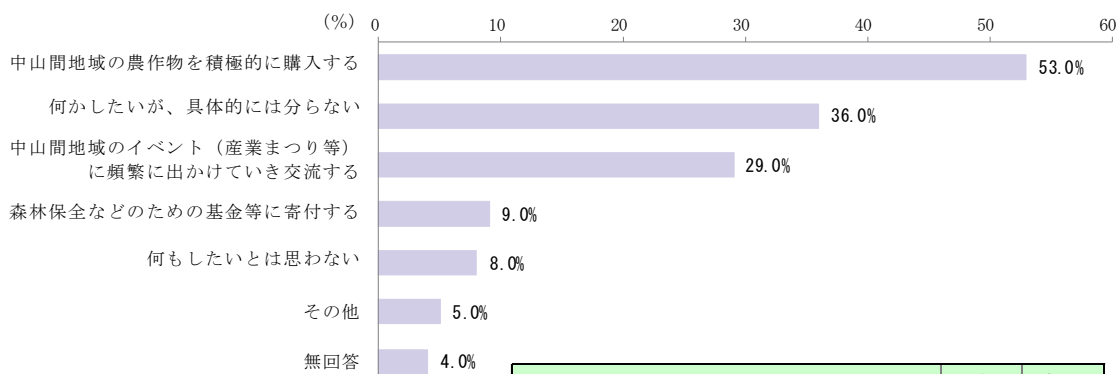
	回答数	割合
買い物	48	56.5%
医療	40	47.1%
バス、電車などの交通	38	44.7%
働く場所	20	23.5%
道路	8	9.4%
学校	4	4.7%
文化、スポーツ、娯楽の機会	2	2.4%
上下水道	1	1.2%
情報、通信	1	1.2%
子育て	1	1.2%
その他	2	2.4%
無回答	2	2.4%
全 体	85	100.0%

問 14 中山間地域は、過疎化、高齢化など様々な課題があります。このことについて、あなたはどのように思いますか？ （2つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
都市部・中山間地域の住民、行政、企業が一体となって解決すべきである	66	66.0%
行政がもっと対策を講じるべきである	44	44.0%
わからない・関心がない	13	13.0%
地域住民が自ら解決すべきである	7	7.0%
その他	6	6.0%
無回答	3	3.0%
全 体	100	100.0%

問 15 あなたは中山間地域とどのような関係をつくりたいと思いますか？ （2つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
中山間地域の農作物を積極的に購入する	53	53.0%
何かしたいが、具体的には分らない	36	36.0%
中山間地域のイベント（産業まつり等）に頻繁に出かけていき交流する	29	29.0%
森林保全などのための基金等に寄付する	9	9.0%
何もしたいとは思わない	8	8.0%
ボランティアとして支援する	0	0.0%
その他	5	5.0%
無回答	4	4.0%
全 体	100	100.0%

問8 中山間地域に何があったら訪れたいと思いますか？（自由記述）

- ・農産物・郷土料理が味わえる道の駅。
- ・自然を生かしたレジャー施設の設置。
- ・古民家宿泊施設の設置。
- ・子ども達を楽しめる施設の設置。
- ・キャンプ場・新鮮な野菜等、特色を発信する必要がある。
- ・中山間地域の具体的な場所を示した冊子の作成。
- ・ウォーキング等の自然体験ができる場所の確保。
- ・広く農産物を販売する。
- ・美味しい名産品のアピール。
- ・伝統の技（調理法等）を教える講座。
- ・他地域の人も参加できるような祭り等のイベント開催。
- ・物産展等の開催。
- ・民俗芸能イベントの開催。
- ・地域の特性を活かしたイベントの開催。
- ・訪問者も農林作物等を楽しめる収穫祭を開催。
- ・家族や友人と気軽に参加できる体験ワークショップの開催。
- ・道路整備。
- ・交通手段の充実。
- ・民芸品等を道の駅で販売。

その他、中山間地域振興に対するご意見。（自由記述）

- ・過疎化抑制には若年層の人口増が課題。魅力を感じてもらうには子育て世代を優遇する施策が必要。
- ・自然災害に強い、安全でアクセスの良い道路を作る。
- ・交通弱者のためのインフラ整備が必要。
- ・交通機関が不十分で、出掛けたくても出来ない。
- ・働く場所がなければ若い人は定着しない。
- ・若い人が住み続けられる場所になれるのがなによりだと思う。
- ・魅力に溢れ需要がある施設の設置。
- ・平野部に中山間地域振興のための道の駅等の施設を設置。
- ・滞在できる施設を作る。
- ・SNS を利用し地域を知ってもらうようアピールする。
- ・中山間地域の問題や取り組みを知らなかった。認知してもらうようアピールが必要。
- ・マップや地域イベントが記載された配布物で中山間地域を知ってもらう必要がある。
- ・森林保全は重要であるが、極端に人口の少ない地域に税金を投入することには複雑な思いがある。
- ・高齢者のために生活上必要な用事を頼むことが出来る機関を作ると良いと思う。
- ・人々に中山間地域に行きたいと思わせるような活動を行政が進めるべき。
- ・ドライブルートや店の案内等、地域の情報誌があると良い。

- ・「中山間地域の何を守りたいのか」行政は思想を持って取り組んで欲しい。
- ・地域交流の場を増やす。